

三二、はとり

家禽ノ一例トシテ形態習性、用途并ニ卵ニツキテ學バシム

1

1、形態

イ、頭(肉冠、嘴)

1、形態

2、習性

鶏(雌雄)卵ノ構造圖

三三、あひる

水禽ノ一例トシテ形態習性、用途ヲ學バシム

1

1、形態

イ、概形
ロ、蹠、脂ヲ出ス突起

2、習性

あひる習性圖

三四、水晶

結晶セル礦物ノ一例トシテノ形状、性質、用途ヲ學バシム

1

1、水晶

イ、結晶
ロ、硬サ
ハ、光澤

1、結晶、硬サ及光澤
2、種類
3、硝子トノ別

水晶ノ種類及結晶
水晶ノ加工品
瑪瑙及其加工品
燧石、蛋白石、硝子板及鋼棒

三五、方解石

劈開完全ナル礦物ノ一例トシテノ形状、性質ヲ學バシメ且石灰岩ニ及ブ

1

1、結晶

2、色、光澤
3、硬サ
4、劈開性
5、重風折
6、酸ニヨル溶解
7、同質物

1、形状
2、硬サ
3、劈開性
4、重風折
5、酸ニヨル溶解

方解石ノ結晶
石灰岩
大理石
稀鹽酸
鐵鏈
試驗管

三六、黄鐵鑛
金屬鑛物ノ一例トシテ
形状、性質、用途ヲ學
バシム 1

- 8、用途
附石灰岩
大理石
- 1、結晶
- 2、色、光澤
- 3、條痕
- 4、硬サ、脆サ
- 5、成分
- 6、用途

- 1、結晶形状
- 2、條痕
- 3、硬サ、脆サ
- 4、高熱ニヨル變化

ガラス片

三七、花崗岩
岩石ノ一例トシテ性質
質、用途及其構成セル
鑛物ニツキテ學バシム 2

- 1、所在、性質及用途
- 2、石英、長石、雲母ヨ
リ成ルコト及其各ノ特
性
- 3、鑛物ト岩石

- 1、花崗岩
イ、新鮮ナルモノ數種
ロ、風化セルモノ
- 2、石英
- 3、長石
- 4、雲母

結晶塊、粉末
條痕板
ガラス板
水晶
綠礬
ベニガラ
硫酸
アルコールランプ
試験管
鐵板、鐵鏈
花崗岩ノ種類及破片
石英(水晶、燧石)
長石(正長石、斜長石)
雲母(白雲母、黑雲母)

三八、土
地殼ヲ構成セル土ノ成
因及其種類ヲ學バシム 2

- 1、地殼ハ岩石ヨリ成ル
コト
- 2、岩石ガ空氣及水等ノ
作用ヲ受ケテ崩壞シ土
トナルコト
- 3、土ノ種類
- 4、保水及透水
- 5、土中ニハ種々ナルモ
ノ、混セルコト

- 1、土ヲ構成スル粘土
砂、有機物及之ニ含ミ
タル水分
- 2、各種土ノ觀察
- 3、土ノ種類ニヨリ保水
透水ニ差アルコト

輝石、角閃石
擴大鏡

土塊
砂
粘土
其他各種ノ土
岩石ノ風化スル順序標本
コップ
試験管
漏斗
濾紙
水

三九、泉、井
雨ト地下水ト泉、井ト
ノ關係ヲ學バシム 1

- 1、雨水ト地下水
- 2、水ノ低キニ流ルル性
- 3、水平面
- 4、土ノ水ヲ濾過スルコ
ト
- 5、泉
- 6、水道
- 7、井
- 8、衛生トノ關係

- 1、土ノ水ヲ濾過スルコ
ト
- 2、連底器ニヨル水平面
ノ試験

砂
粘土
普通ノ土
泉、井ノ掛圖
連底器
底ニ小孔アル試験管ト脱
脂綿

四〇、食鹽

1 形狀、性質、製鹽法及用途ヲ學バシム

- 1、形狀
- 2、結晶
- 3、性質
- イ、水ニ溶クルコト
- ロ、溶液ハ通常ノ水ヨリ重キコト
- 3、所在
- 4、製鹽法
- 5、用途

- 1、溶解實驗
- 2、結晶實驗
- 3、溶液ハ水ヨリ重キコトノ實驗

食鹽、燒鹽
ビーカー
試験管
シヤール
製鹽圖
酒精燈
五徳

四一、硫黃

2 産出、形狀、性質及用途ヲ學バシム

- 1、産出及形狀
- 2、性質
- イ、熱ニヨリテ液體トナリ又氣體トナル
- ロ、燃エ易シ(亞硫酸瓦斯)
- ハ、金屬ト化合ス
- 3、用途

- 1、塊、結晶、粉末
- 2、熱ニヨリテ液體又ハ氣體トナルコト
- 3、燃エ易キコト
- 4、金屬ト化合シ易キコト

硫黃塊
結晶、粉末
銅箔、銀箔、金箔
試験管
ビーカー
アルコールランプ
マツチ

四二、空氣

1 空氣ノ性質ヲ知ラシム

- 1、空氣ノ存在スルコト
- 2、體積ノ變シ易キコト

- 1、コップ、燻、ゴム毬等ニヨリ空氣ノ存在ノ

コップ
燻

- 3、押シ縮メタル空氣ノ壓力

- 實驗
- 2、灌腸器ヲ用ヒテ空氣ノ體積ノ變シ易キコト及押シ縮メタル空氣ノ壓力ノ實驗
- 3、空氣鐵砲ノ構造及作用

ゴム毬
灌腸器
硝子管製空氣鐵砲(鉛筆位ノ大キサ、山吹ノ心ヲ用フ)

四三、水

3 水ノ性質ヲ知ラシメ兼テ寒暖計ノ使用法ヲ授ケル

- 1、表面ノ平カナルコト
- 2、體積ノ變シ難キコト
- 3、水ノ水蒸氣ニ變ズルコト
- 4、沸騰スル水ヨリ出ヅル水蒸氣ト其水ノ溫度
- 5、水蒸氣
- 6、濕氣
- 7、雨
- 8、雪
- 9、霰
- 10、水ノ氷ニ變ズルコト
- 11、水ト氷トノ混ズルモノノ溫度
- 12、物質ノ三態

- 1、種々ノ器ニ水ヲ入レ形ノ變ズルコト及表面ノ平カナルコトU字管又ハ灌腸器(空氣鐵砲代用)ヲ用ヒテ體積ノ變シ難キコト
- 2、水ノ水蒸氣ニ變ズルコト
- 3、湯氣ノコト
- 4、沸騰スル水トコレヨリ出ヅル水蒸氣トノ溫度測定
- 5、水ヲ氷ニ變ズルコト及氷ノ溫度測定

種々ノ形ノ硝子器
U字管
灌腸器(空氣鐵砲代用)
フラスコ
酒精燈
金網
スタンド
棒狀攝氏寒暖計
コップ
試験管
食鹽
氷(雪)
マツチ
水

題目時間要旨	要 項	實驗觀察事項	用 具 材 料
<p>一 はまぐり 二 枚貝ノ例トシテ形 態、習性、効用ヲ學バ シム</p>	<p>1、はまぐり イ、形態、習性 A、介殻(二枚蝶番、 成長線) B、體(貝柱、外套 膜、入水孔、出水 孔、鰓足) C、口ト觸唇 D、棲 所 E、食 物 F、足ト運動 G、保 護</p>	<p>1、形 態 イ、介 殻 ロ、貝 柱 ハ、外套膜 ニ、鰓 ホ、足 ヘ、觸 唇 ト、水 管</p>	<p>はまぐり(多數) あさり しじみ あこや貝 かき 殻ヲ燒キタル石灰 二枚貝ノ掛圖 貝ノ加工品 解剖用具 水篋器</p>
<p>二、えびトカニ 附みちんこ 貝殼類ノ一例トシテえ び、かにノ形態、習性、</p>	<p>1、えび イ、形 態 A、色</p> <p>2、二枚貝 イ、種 類 ロ、効 用</p>	<p>1、形 態 2、習 性 3、えび、かにノ内部構</p>	<p>えび かに みちんこ</p>

<p>ハ、口、効用 イ、習性 エ、形態</p>	<p>3、みちんこ ホ、効用 ニ、種類 ハ、食物 ロ、棲所 ハ、運動法 ロ、脚 C、脚 B、脚 A、頭胸部</p>	<p>2、かに ハ、種類 ホ、食物 ニ、運動法 ロ、棲所 ハ、口 E、觸角 D、觸角 C、觸角 B、頭胸部</p>
---------------------------------	---	---

三、いかたたこ
形態、習性、効用ニツ
キテ學バシム

- 1、い、い
- イ、形態
- A、頭
- B、足
- C、口
- D、胴部
- E、色
- ロ、習性
- A、棲所
- B、運動法(附墨汁)
- C、食物
- ハ、効用
- 2、た、こ
- イ、形態
- ロ、習性
- ハ、効用

- 1、形態
- 2、内部構造ノ大要

いかたたこ
するめ
掛圖
解剖用具

四、蠶
形態、飼育及製絲ニツ
キテ學バシム

- 1、發生
- イ、種紙：卵
- ロ、孵化及掃立
- 2、發育

- 1、發育順序及其ノ狀況
- 2、生絲

種紙
各齡ノ標本
飼育狀況圖
繭

五、そらまめ

蝶形花ヲ有スル植物ノ
例トシテ根、莖、葉及
花、果實ノ形態、生態
ヲ學バシム

- 1、根：(根瘤)
- 2、莖
- 3、葉
- 4、花：(蝶形)
- 5、花ノ生態

- イ、桑
- ロ、眠起
- ハ、幼蟲ノ形態
- ニ、上簇
- 3、繭ト蛹
- 4、蛾ト産卵
- 5、製絲

- 1、根、莖、葉、花及果實ノ各部
- 2、根瘤

蛾
桑
生絲及眞綿
製絲ノ圖
繭ヨリ絲ヲ繰リ出ス装置

そらまめノ根、莖、葉、
花ヲ具ヘタルモノ
同果實
擴大鏡
ピンセット
荳科植物

六、むぎ

形態、生態、用途並ニ
病害ノ例トシテ其黒穂
ニツキテ學バシム

- 1、穂ト花
- 2、果實
- 3、葉、莖、根

- 6、果實ノ構造
- 7、類例
- 8、効用

- 1、莖、葉、根ノ花
- 2、種類
- 3、黒穂

麥ノ穂、葉、莖、根ヲ具
ヘタルモノ(多數)
麥ノ種類

七、まっ

針葉樹ノ一例トシテ
幹、葉、花、果實、形
態、生態及材ノ用途ニ
ツキテ學バシム

- 1、松ノ種類
- 2、花及果實
- 3、葉
- 4、幹(年輪)
- 5、樹脂
- 6、材ノ用途

- 4、種類
- イ、大麥
- ロ、小麥
- ハ、裸麥
- 5、黑穗
- 6、用途

八、たけ

形態、生態、用途及其
普通樹木ト著シク異ル
點ヲ學バシム

- 1、形態
- イ、幹
- ロ、葉

- 1、雄花、雌花ノ形、色、位置及花粉散布ノ狀
- 2、果實ノ形、色、附方及種子散布ノ狀
- 3、葉ノ形、色、附方
- 4、幹
- 5、昨年ノ果實ト一昨年ノ果實トノ位置及新芽ノ伸ビ工合

- 1、枝ノツキ方、葉形、葉脈
- 2、横断面及縦断面

果實
黒穗
挽割麥
壓麥
溫鈍粉
麥稈眞田
麥稈眞田
麥稈眞田ノ器具

雄花、雌花ノツキタル枝
若キ果實
熟シタル果實
木材ノ横断并縦断面ヲ現
ハセル標本
松ノ種類

葉ヲツケタル枝、根ヲ有
スル地下莖
筍及筍ノ皮

九、すいめ
小鳥ノ一例トシテ形
態、習性ヲ學バシム

- ハ、地下莖、及根
- ニ、筍
- 2、生態
- 3、種類
- 4、用途

- 1、形態
- イ、體、羽色
- ロ、各部
- 2、習性
- イ、棲息ノ狀態
- ロ、食餌
- ハ、巢ト育雛
- ニ、運動
- 3、害

一〇、つばめ
候鳥ノ例トシテ形態、
習性ヲ學バシム

- 1、形態
- イ、概形
- ロ、體ノ各部
- 2、習性
- イ、運動ト捕蟲

幹
竹ノ種類
縦断面及横断面ヲ現セル
標本

雀ノ標本
鳴禽類ノ標本

燕ノ標本
燕ノ習性ヲ示ス圖
保護鳥數種

一、かたつむり
形態及習性ヲ授ケ並ニ
巻貝ニ種々アルコトヲ
學バシム

- 1、形態
- イ、體
- ロ、頭
- ハ、足
- 2、習性
- イ、棲所
- ロ、運動
- ハ、食物
- ニ、冬眠
- 3、巻貝ノ種類

- ロ、人家ノ軒等ニ巢テ
- 營ミ糞ヲ養フ
- ハ、飛翔ト翼及尾トノ
- 關係
- 3、保護鳥及保護期

- 1、形態
- 2、習性
- 3、内部構造ノ大要

かたつむり
たにし
さゝえ
あはび等
掛圖
解剖用具

二、夏至
季節ノ變化ヲ知ラシム
ル爲夏至頃ニ於ケル太
陽ノ運行及夏ノ氣候ニ
ツキ學バシム

- 1、太陽ノ運行
- イ、運行ノ變化
- ロ、晝夜時間ノ長短
- ハ、夏至
- 2、夏ノ氣候

- 1、太陽ノ高度測定
- 2、日出、日入ノ方位、時刻等

太陽ノ運行説明器
太陽ノ高度測定装置
曆

三、はへ
有害ナル昆蟲ノ一例ト
シテ形態、習性及驅除
法ヲ學バシム

- 1、形態
- イ、體
- ロ、口
- ハ、眼
- ニ、翅、脚
- 2、習性
- イ、發生及變體
- ロ、棲所ト食物
- ハ、産卵、繁殖法
- 3、傳染病ノ媒介
- 4、驅除法

- 1、擴大鏡ニヨリテノ觀察
- 2、顯微鏡ニテ口、脚等ノ觀察

いへばへ
形態及習性圖
擴大鏡
顯微鏡

四、か
有害ナル昆蟲ノ一例ト
シテ形態、習性及驅除
法ヲ學バシム

- 1、ぼうふり
- 2、蚊ノ形態ト習性
- 3、マラリヤ病菌ノ媒介
- 4、驅除法

- 1、ぼうふリノ運動
- 2、蚊ノ形態及雌雄ノ別
- 3、口器

ぼうふり
蚊
形態習性圖
蚊ノ種類
擴大鏡

五、水草
水草ノ一例トシテふさ
も、うきくさニツキ學
バシム

- 1、水草一般ノ生態
- 2、ふさも
- イ、形態

- 1、水草ト陸草トノ形態、生態上著シク異ル點

ふさも
うきくさ
きんぎよも

一六、水中ノ昆虫

水棲昆虫ノ例トシテげんごろう、みづすましノ形態、習性ヲ學バシム

- ロ、生態
- イ、形態
- 口、生態

1、げんごろう

イ、形態

ロ、習性

2、みづすまし

イ、形態

ロ、習性

3、其他ノ昆虫
ぼうふり(蚊ノ幼蟲)
やこ(蜻蛉ノ幼蟲)等

1、形態

イ、體形、鱗

ロ、鱗

ハ、頭、鰓蓋、鰓孔、鰓

習性

五、びも
せきしやうも(ひらも)
あかうきぐさ
くわぬ等
廣口瓶又ハ硝子製水槽

げんごろう

みづすまし

まつもむし

みづかまきり

がむし

たがり

ぼうふり

やこ等

廣口瓶又ハ硝子製水槽

解剖用具

解剖圖

鯉、金魚等

水槽

一七、ふな

形態及習性ヲ學バシメ之ニヨリテ魚ノ生活ノ大要ヲ知ラシム

1、形態

イ、體形、鱗

ロ、鱗

ハ、頭、鰓蓋、鰓孔、鰓

習性

1、形態

2、運動法
(各部ノ機能)

3、内部構造ノ大要

一八、害虫

害虫ノ一例トシテうんが及びいがノ形態、習性ヲ學バシム

3、運動

4、人生トノ關係

5、養魚ノ一斑

附こひ、きんぎよ、ます

1、うんが

イ、形態

ロ、習性

ハ、作物ニ及ボス害

ニ、驅除法

2、いが(衣蛾)

イ、形態

ロ、習性

ハ、織物ニ及ボス害

ニ、驅除法

3、害虫ノ種類及ビ其概要

1、うんが及びいがノ習性及被害ノ狀況

2、其他ノ害虫ノ種類

うんが

いが

害虫ノ種類

被害標本

一九、秋分

秋分ノ頃ニ於ケル太陽ノ運行及秋ノ氣候ニツキ學バシム

1、秋分ノ頃ニ於ケル太陽ノ運行

イ、夏至ノ日ヨリ秋分

マテ

1、太陽ノ高度測定

太陽ノ高度測定装置

太陽ノ運行説明器

二〇、毒草と藥草
普通ノ有毒植物並ニ藥用植物ニツキテ學バシム

- 1、普通ノ有毒植物
イ、どくろうつぎ
ロ、どくぜり
ハ、とりつぶと
ニ、たけにくさ
ホ、きんぼうげ
ヘ、しきみ等
- 2、同上ノ中毒症狀及應
急手當
- 3、普通ノ藥用植物
イ、むしよけきく
ロ、げんのしようこ
ハ、はくか
ニ、ちようせんじんじ
ホ、せんぶり
ヘ、サフラン等
- 4、同上ノ藥用

- 1、有毒植物ノ形態
- 2、藥用植物ノ形態

教材ニアル各種ノ植物并ニ其成品

二一、きのこ

きのこの例トシテ松茸、椎茸ニツキ形態、生態ヲ學バシム

- 1、松茸
イ、形態
- 2、椎茸
イ、形態
ロ、生態
ハ、培養
- 3、きのこの種類
イ、食用
ロ、有毒

- 1、盆上ニ胞子ヲ落シテ肉眼觀察
- 2、菌糸及胞子ヲ顯微鏡ニテ觀察

松茸
椎茸
種々ノきのこの圖
顯微鏡

二二、かび

普通ノかびノ種類並人生活トノ關係ヲ學バシム

- 1、かうぢかび
イ、形態、生態
ロ、人生トノ關係
- 2、あわかび
イ、形態、生態
ロ、人生トノ關係
- 3、かびノ種類

- 1、肉眼的觀察
- 2、顯微鏡的觀察
- 3、麴菌及酵母菌ノ作用實驗

かび培養装置
顯微鏡

二三、へび
形態、習性ヲ學バシム

- 1、形態
イ、體ノ概形

- 1、體ノ各部
- 2、骨格

あなだいしろう
やまかかし

二四、石油
性質、成分、製法、用途及原油ヨリ精成セラ
ル、物ニ就テ學バシム

- ロ、體ノ各部
- 2、習性
 - イ、棲所及食物ト其押方
 - ロ、運動
 - ハ、脱皮
 - ニ、冬眠
- 3、毒アル蛇ト毒ナキ蛇
 - イ、其形態上ノ區別
 - ロ、其種類

- 1、燈用ノ石油
 - イ、色、臭氣
 - ロ、水ヨリ輕キコト
 - ハ、燃エ易キコト
- ニ、成分
- ホ、效用
- 2、所在及精製
 - イ、産出ノ狀
 - ロ、精製
- 3、原油ヨリ得ラル、他ノ製品及ソノ效用

- 3、有毒及無毒ノ蛇ノ形態上ノ差
- 4、齒
- 5、運動

- 1、石油及其他ノ製品
- 2、水ヨリ輕キコト
- 3、燃エ易キコト
- 4、蒸餾

まむし等ノ標本
蛇ノ形態、生態ヲ示シタル圖
骨格ノ標本
捕食説明模型

原油
燈用石油
揮發油
器械油
パラフィン
ワセリン
ピツチ
油田ノ掛圖
試験管
皿
アルコールランプ

二五、石 炭
成因、産狀、性質及成分並ニ用途ニツキテ學バシム

- 1、産出、成因
 - イ、産狀及採掘
 - ロ、成因
- 2、性質、成分
 - イ、性質
 - ロ、成分
- ハ、種類ト品位
- 3、用途
 - イ、燃料：石炭、コークス、ガス
 - ロ、コークス及ガス製造ノ副産物
- 4、石炭産額ノ概況

- イ、揮發油
- ロ、機械油
- ハ、パラフィン、ワセリン
- ニ、ピツチ
- 4、石油産額概況

- 1、各種ノ石炭
- 2、副産物
- 3、石炭瓦斯發生

水 槽

各種ノ石炭
碎キタル石炭
石炭採掘ノ圖
コークス及ガス製造ノ副産物
瓦斯發生装置

二六、鐵

鐵石、精鍊、種類、性質及用途ニツキテ學バシム

- 1、鐵ノ鐵石
- 2、精鍊法
- 3、種類、性質、用途
- 4、防錆法及鐵器使用上ノ注意

- 1、鐵ノ鐵石
- 2、鑄鐵片ノ性質
- 3、軟鋼ト硬鋼トノ性質

鐵ノ鐵石各種
鐵ノ種類
溶鐵爐ノ掛圖

二七、銅

鐵石、精鍊、性質、用途及合金ニツキテ學バシム

- 1、銅ノ鐵石
- 2、精鍊
- 3、性質
- 4、用途
- 5、銅ノ合金

- 1、銅ノ鐵石
- 2、銅及ソノ合金
- 3、銅ノ延性、展性
- 4、綠青

黃銅鐵
黃鐵鐵
銅板
銅線
銅箔
絲青ノ出タル銅
銅ノ合金
金鏈

二八、錫、亞鉛

性質、用途ヲ學バシム

- 1、錫
- イ、性質
- ロ、用途
- 2、亞鉛
- イ、性質
- ロ、用途

- 1、錫及亞鉛
- 2、ブリキ及トタン

錫
亞鉛
ブリキ
トタン
試験管
アルコールランプ

二九、鉛、アルミニウム

性質、用途ヲ學バシム

- 1、鉛
- イ、鉛ノ鐵石及ソノ精鍊
- ロ、性質
- ハ、用途
- 2、アルミニウム
- イ、性質
- ロ、用途

- 1、鉛及アルミニウム
- 2、鉛ノ吹管分拆

方鉛鐵
鉛
アルミニウム
ハンダ
活字
アルコールランプ
吹管
木炭
炭酸ソーダ
木炭穿孔器

三〇、金、銀、白金

貴金屬トシテ性質、用途ヲ學バシム

- 1、金
- イ、性質
- ロ、用途
- 2、銀
- イ、性質
- ロ、用途
- 3、白金
- イ、性質
- ロ、用途
- 4、金、銀、白金ノ合金

- 1、金、銀、白金
- 2、銀ノ硫黃ト化合シ易キコト
- 3、赤銅

金鐵
銀鐵
金、金箔、砂金
銀、銀箔
白金線
赤銅
ピンセット
アルコールランプ
硫黃

三一、酸素 性質及用途ヲ知ラシム 2

- 1、性質
イ、色
ロ、臭
ハ、味
- 2、助燃性
- 3、發生捕集用途

- 1、性質
イ、色
ロ、臭
ハ、味
- 2、助燃性(マッチ、杉箸、蠟燭、木炭等ヲ燃シテ)
- 3、發生捕集

三二、冬至 冬至ノ頃ニ於ケル太陽 1

- 1、太陽ノ運行

- 1、太陽ノ高度測定

- 廣口瓶
- 試験管
- 酒精燈
- ゴム管
- 木栓
- 水槽
- 試験管挾
- マッチ
- 水
- 鹽酸加里
- 二酸化マンガン
- 杉箸
- 木炭
- 蠟燭
- フラスコ
- △瓦斯溜
- △スタンド
- △硫黄
- △鐵細線

太陽ノ高度測定装置

ノ運行及冬ノ氣候ニツキテ學バシム

三三、空氣ノ成分 主ナル成分ヲ知ラシム 1

- 1、秋分ノ日ヨリ冬至ノ日ノ出入、方角
- 2、晝夜ノ長短
- 3、正午時ニ於ケル太陽ノ高低
- 2、氣候
イ、太陽ノ運行ト氣温ノ昇降
ロ、大氣ノ乾濕
ハ、寒キ季節(大寒、小寒)
- 1、空氣中ノ酸素ノ量
- 2、空氣中ノ窒素ノ量
- 3、窒素ノ性質
イ、色
ロ、臭
ハ、味
- 4、物ノ燃燒ヲ支ヘズ
- 5、窒素ノ效用
- 5、空氣ハ主ニ酸素ト窒素トノ混合物ナルコト

- 2、日出、日入ノ方位、時刻等

- △空氣中ノ酸素ノ量測定(硝子鐘内ニ燐ヲ燃シテ)
- △窒素ノ性質

- △硝子鐘
- △水槽
- △蒸發
- △燐
- △蠟燭
- △燃燒匙
- △ピンセット
- △針金三脚臺
- △針金
- △酒精燈
- △印ヲ附シタル實驗ハ教師ノミ行フモノナリ

太陽ノ運行説明器

三四、水素²
水素ノ性質、用途及燃
エテ水ヲ生ズルコトニ
ヨリテ水ノ成分ヲ知ラ
シム

- 1、水素ノ製法
- 2、水素ノ性質
- イ、色
- ロ、臭
- ハ、空氣ヨリ輕キコト
- ニ、燃エテ水ヲ生ズルコト
- ホ、焰ノ高熱ナルコト
- ヘ、空氣ヲ混シテ燃燒スルトキ爆發スルコト
- 3、水素ノ用途
- 4、水ノ成分

- 1、水素ノ發生捕集
- 2、水素ノ性質
- イ、色
- ロ、臭
- ハ、空氣ヨリ輕キコト
- (石鹼タマヲトバシテ、△風船球ヲトバシテ)
- ニ、燃燒スルコト
- △燃燒シテ水ヲ生ズルコト
- ホ、焰ノ高熱ナルコト
- ヘ、空氣ヲ混シテ燃燒スルトキ爆發スルコト
- (△廣口瓶ニ水素ヲ捕集シ空氣ヲ混シテ點火ス)

- △濾紙
- △マツチ
- △鉄、水
- 發生捕集裝置
- 安全燃燒管
- 白金線
- ビーカー
- 蒸發皿
- 石鹼水
- 稀硫酸
- 亞鉛
- マツチ
- 水
- △風船球
- △フラスコ(又ハ瓶)
- △木 栓
- △硝子管
- △廣口瓶

三五、炭酸瓦斯²
性質及用途ヲ知ラシム

- 1、製 法
- 2、性 質
- イ、色
- ロ、臭
- ハ、空氣ヨリ重シ
- ニ、石灰水ヲ白濁ナラシム
- ホ、物ヲ燃ス性質ナシ
- 動物ヲ窒息セシム
- ヘ、水ニ溶解ス
- 3、用 途
- 4、炭酸瓦斯ノ生ズル場合
- イ、物ノ燃燒
- ロ、生物ノ呼吸
- 5、危険ニ對スル注意
- イ、換氣法
- ロ、燭火ニヨル檢出法
- 1、物ニ重サアルコト
- 2、物ノ輕重

- 1、發生捕集
- 2、性 質
- イ、色
- ロ、臭
- ハ、石灰水ヲ白濁ナラシム
- ニ、燃燒ヲ助ケズ
- ホ、空氣ヨリ重シ
- ヘ、△水ニ溶解スルコト
- 3、輕便消火器(試験管實驗)
- 4、ラムネ

- 發生捕集裝置
- 燃燒匙
- 蠟 燭
- 石灰水
- 簡易消火器
- ラムネ瓶
- 石灰石
- 鹽 酸
- 重 曹
- 酒石酸
- マツチ
- 水

三六、物の重さ、重カ³
重力及物ノ重サニツキ
テ知ラシム

- 1、秤ノ使用法
- 2、同質異質ノモノノ同

- 秤、(三百匁銀秤)
- 同體積ノ物體數箇

三七、摩擦

摩擦ニツキテ知ラシム 1

- 1、同質ノ物ノ輕重
- 2、異質ノ物ノ輕重
- 3、物ノ浮沈
- 4、比重(水ヨリ重キモノ)
- 5、重力
- 6、鉛直線ト水平面

- 1、體積ノ重サ測定
- 2、水ニ對スル比重測定
- 3、水ニ對スル比重測定

ビーカー
錘、水槽
流出口付圓筒

三八、慣性

慣性ニツキテ知ラシム 1

- 1、靜止ノ慣性
- 2、運動ノ慣性
- 3、慣性ノ日常生活ニ及ス影響

- 1、靜止ノ慣性(慣性實驗器ニヨリ)
- 2、運動ノ慣性

慣性實驗器
數個ノ木片
厚紙

三九、振り子

振り子ニ於ケル力ノ釣合及其應用ニ就テ知ラシム 2

- 1、二力が支點ノ兩側ニ働ク場合

- 1、二力が支點ノ兩側ニ働ク時ノ力ト距離トノ

振り子
滑車

四〇、秤

天秤及桿秤ノ構造、用法ニ就テ知ラシム 1

- 1、力ト距離(支點ヨリ力ノ働ク點ニ至ル距離)トノ關係
- 2、二力が支點ノ同側ニ働ク場合
- 3、應用

- 1、關係測定
- 2、金テコ、シーソー、日本鉄、木鉄、釘拔等ノ考察

スタン
木鉄
日本鉄
釘拔

四一、振り子、時計

振り子ノ運動及時計ノ構造ニツキ知ラシム 2

- 1、振り子
- 2、振動ノ意義
- 3、一振動ノ時間
- 4、振り子ノ長サト一振動ノ時間トノ關係
- 5、時計ノ構造ノ大要

- 1、長サ等シキ振り子ノ一振動ノ時間ノ一定セルコト
- 2、長サ異ル振り子ノ一振動ノ時間ノ異ルコト
- 3、時計ノ構造及作用ノ大要

振り子
時計説明器

四二、春分

春分ノ頃ニ於ケル太陽 1

- 1、太陽ノ運行

- 1、太陽ノ高度測定

太陽ノ高度測定装置

ノ運行及春ノ氣候ニツ
キテ學バシム

- イ、冬至ノ日ヨリ春分
- マデ
- ロ、晝夜ノ平分
- ハ、春ノ彼岸
- ニ、春分ノ氣候ト動植物
- トノ關係
- 三、土地ト氣候

太陽ノ運行説明器
曆

第六學年

第一學期		第二學期		第三學期	
課 番 號	題 目	課 番 號	題 目	課 番 號	題 目
二一	種子の發芽	一九	熱氣機關	三六	人體ノ組立
二二	海に藻類	二〇	光の反射	三七	食物
二三	くらげ、いんげん	二一	平面の鏡射	三八	消化環化
二四	生物界の概況	二二	光の屈折	三九	呼吸と汗
二五	火山の成岩	二三	色のズ	四〇	尿と
二六	流水の作用	二四	音のズ	四一	腦脊髄神經
二七	地層の成岩	二五	磁石	四二	感覺器
二八	炭酸鈣	二六	電池	四三	衛生
二九	苛性炭酸	二七	電燈	四四	
三〇	硝酸鈣	二八	電話機		
三一	石炭酸	二九	電信機		
三二	アクリル	三〇	電話機		
三三	酢酸	三一	電話機		
三四	空氣の壓力	三二	電話機		
三五	空氣の壓力	三三	電話機		
三六	空氣の壓力	三四	電話機		
三七	空氣の壓力	三五	電話機		
三八	空氣の壓力	三六	電話機		
三九	空氣の壓力	三七	電話機		
四〇	空氣の壓力	三八	電話機		
四一	空氣の壓力	三九	電話機		
四二	空氣の壓力	四〇	電話機		
四三	空氣の壓力	四一	電話機		
四四	空氣の壓力	四二	電話機		
四五	空氣の壓力	四三	電話機		
四六	空氣の壓力	四四	電話機		
四七	空氣の壓力	四五	電話機		
四八	空氣の壓力	四六	電話機		
四九	空氣の壓力	四七	電話機		
五〇	空氣の壓力	四八	電話機		
五一	空氣の壓力	四九	電話機		
五二	空氣の壓力	五〇	電話機		
五三	空氣の壓力	五一	電話機		
五四	空氣の壓力	五二	電話機		
五五	空氣の壓力	五三	電話機		
五六	空氣の壓力	五四	電話機		
五七	空氣の壓力	五五	電話機		
五八	空氣の壓力	五六	電話機		
五九	空氣の壓力	五七	電話機		
六〇	空氣の壓力	五八	電話機		
六一	空氣の壓力	五九	電話機		
六二	空氣の壓力	六〇	電話機		
六三	空氣の壓力	六一	電話機		
六四	空氣の壓力	六二	電話機		
六五	空氣の壓力	六三	電話機		
六六	空氣の壓力	六四	電話機		
六七	空氣の壓力	六五	電話機		
六八	空氣の壓力	六六	電話機		
六九	空氣の壓力	六七	電話機		
七〇	空氣の壓力	六八	電話機		
七一	空氣の壓力	六九	電話機		
七二	空氣の壓力	七〇	電話機		
七三	空氣の壓力	七一	電話機		
七四	空氣の壓力	七二	電話機		
七五	空氣の壓力	七三	電話機		
七六	空氣の壓力	七四	電話機		
七七	空氣の壓力	七五	電話機		
七八	空氣の壓力	七六	電話機		
七九	空氣の壓力	七七	電話機		
八〇	空氣の壓力	七八	電話機		
八一	空氣の壓力	七九	電話機		
八二	空氣の壓力	八〇	電話機		
八三	空氣の壓力	八一	電話機		
八四	空氣の壓力	八二	電話機		
八五	空氣の壓力	八三	電話機		
八六	空氣の壓力	八四	電話機		
八七	空氣の壓力	八五	電話機		
八八	空氣の壓力	八六	電話機		
八九	空氣の壓力	八七	電話機		
九〇	空氣の壓力	八八	電話機		
九一	空氣の壓力	八九	電話機		
九二	空氣の壓力	九〇	電話機		
九三	空氣の壓力	九一	電話機		
九四	空氣の壓力	九二	電話機		
九五	空氣の壓力	九三	電話機		
九六	空氣の壓力	九四	電話機		
九七	空氣の壓力	九五	電話機		
九八	空氣の壓力	九六	電話機		
九九	空氣の壓力	九七	電話機		
一〇〇	空氣の壓力	九八	電話機		

題目時間要旨	要 項	實驗觀察事項	用 具 材 料
<p>一、種子ノ發芽 種子ノ發芽スル有様及 種子ノ發芽ニ要スル事 項ニツキテ學バシム</p> <p>二、海藻 普通ノ海藻ニツキテ形 態、効用等ノ大要ヲ學 バシム</p>	<p>1、各種種子ノ構造 2、各種種子ノ發芽ニ要 スル主ナル事項 イ、水分 ロ、溫度 ハ、養分 A、胚乳又ハ子葉中 ニ存在スル養分 B、幼根ノ水及養料 ノ攝取 C、嫩葉ノ養料攝取 3、種子保存注意</p> <p>1、昆布 イ、葉狀部ト軸部 ロ、褐色ニシテ粘滑ナ ルコト ハ、體ノ全面ニテ養分 ヲ吸フコト</p>	<p>1、種子ノ構造 2、各種ノ發芽狀態</p> <p>1、各種ノ海藻 イ、形態 ロ、色 2、海藻ヨリノ製品</p>	<p>各種種子 大豆 そらまめ 朝顔 松 稻等ノ種子ノ發芽シタル モノ 發芽實驗裝置</p> <p>こんぶ かじめ わかめ ひじき ほしだわら あなご</p>

<p>ニ、産地 ホ、採集法ト製法</p> <p>2、海藻類 イ、形態分類 A、褐色藻：昆布、 かじめ、わかめ、 ひじき B、綠色藻：あなご あまのり C、紅色藻：てんぐ さ、あまのり、ふ のり ロ、生 態 A、所 在 B、氣胞（ほんだわ ら） C、胞子ニヨル繁殖</p> <p>3、海藻ノ効用 イ、食用 ロ、肥料 ハ、糊 ニ、妖度加里ノ製造原 料</p>

あまのり
あまのり
てんぐさ
ふのり
つのもた等標本
寒天
沃度
其他海藻ヨリノ製品
海藻掛圖

三、ちびとなまこ

形態、習性、効用ヲ學
バシム

1

ホ、寒天ノ製造原料
4、有用水産動物ノ繁
殖助長

1、うに

イ、形態

ロ、習性

ハ、効用

ニ、なまこ

イ、形態

ロ、習性

ハ、効用

1、うにノ形態

イ、刺

ロ、殻

ニ、なまこノ形態

うに、なまこノ標本

うにノ刺ヲ除キタル殻

うに、なまこノ掛圖

四、くらげ、かいめん

形態、習性、効用ヲ學
バシム

1

1、くらげ及かいめんノ
形態、習性、種類

2、いそぎんちやく及さ
んごノ形態、習性、種
類

3、さんご及かいめん類
ノ骨格

4、さんご、かいめん、
くらげノ効用

1、種類及形態

2、かいめんノ骨格

くらげ

かいめん

いそぎんちやく及さんご

井ソレヲノ骨格

ソレヲノ掛圖

顯微鏡

五、生物界の概況

主トシテ生物ノ生活狀
態ヲ學バシム

3

1、自衛：保護色、擬態、
刺針、毛等

2、共棲：いそぎんちや
く、やどかり、荳科植
物ト根瘤バクテリア

3、群棲：らつこ、おつ
とせい、雀、鳩、鳥

4、寄生：きのこ、白癩、
蛔虫、蟻

5、共存：動物ト植物ト
ノ關係

6、進化ノ大意

動物ノ保護色擬態ヲ示
ス圖及實物

刺針毛アル植物ノ圖及
實物

群棲寄生ヲ示ス圖

六、火山、火成岩

火山、火成岩ニツキテ
授ケ且ツ地熱ノ存在ヲ
學バシム

2

1、火山ノ狀態

イ、火山

ロ、噴出物

2、火山ノ出來方

3、火成岩ノ種類及ソノ
用途

イ、安山岩

ロ、花崗岩

1、火山噴出物

2、火成岩

火山灰

火山礫

燒岩

安山岩

花崗岩

火山及溫泉ノ掛圖又ハ繪
葉書

我國ノ火山分圖

七、流水の作用 1
流水ノ土地ニ及ボス作用ヲ學バシム

- 1、雨水ノ作用
- 2、流水ノ状態
- 3、河水ノ作用
- イ、侵蝕作用
- ロ、運搬作用
- ハ、堆積作用
- 4、河水ノ利用
- 附、洪水、治水法

- 4、温泉
- 5、地熱
- 附地震

1、礫ノ角稜アルモノト圓滑ナルモノトノ比較

種々ノ礫川ノ砂及泥土流水ノ作用ニ關スル掛圖

八、地層、水成岩 2
水成岩及地層ニ就キテ學バシム

- 1、水成岩ノ成因及種類
- イ、泥岩
- ロ、粘板岩
- ハ、礫岩
- ニ、砂岩
- ホ、凝灰岩
- ヘ、石灰岩
- 2、地層及化石

1、水成岩ノ各種 2、化石

泥岩 粘板岩 砂岩 礫岩 凝灰岩 石灰岩 化石數種 地層ノ掛圖

九、硫酸 2
性質及用途ニツキテ知ラシム

- 1、性質
- イ、地層ノ有様
- ロ、化石
- 3、水成岩ノ効用

1、性質

イ、色
ロ、リトマスニ對スル反應
ハ、木綿、木片等ニ對スル作用
ニ、亞鉛、鐵ニ對スル作用
ホ、極メテ薄キモノ、

1、性質

イ、色
ロ、味
ハ、酸性反應
ニ、木綿、木片等ニ對スル濃硫酸ノ作用
ホ、金屬ニ對スル稀硫酸ノ作用

酸類ヲオク板 藥品瓶 試験紙 コップ 硝子棒 試験管 小皿、木綿片 木片、亞鉛 鐵、マツチ、水

一〇、鹽酸 1
性質及用途ニ就テ知ラシム

1、性質

イ、色
ロ、極メテ薄キモノ、味
ハ、リトマスニ對スル反應

1、性質

イ、色
ロ、味
ハ、酸性反應
ニ、亞鉛ニ對スル稀鹽酸ノ作用

酸類ヲオク板 藥品瓶 試験紙 コップ 硝子棒 試験管

一、硝酸
性質及用途ニ就テ知ラシム

1、性質
イ、色

ロ、リトマスニ對スル反應

ハ、毛織物ニ對スル作用

ニ、銅ニ對スル作用

2、用途

1、性質
イ、色

ロ、酸性反應

ハ、毛織物ニ對スル作用

ニ、銅ニ對スル作用

2、用途
ニ、亞鉛ニ對スル作用

亞鉛
水
マツチ

酸類ヲ置ケ板

藥品瓶

試験紙

コップ

硝子棒

試験管

毛織物

銅

硝酸、水

二、苛性曹達
性質及用途ニ就テ知ラシム

1、性質
イ、水ニ溶ケ易シ

ロ、極メテ薄キモノ、味

ハ、リトマスニ對スル反應

ニ、動植物ニ對スル作用

1、性質
イ、水ニ溶ケ易キコト

ロ、味

ハ、アルカリ反應

ニ、木葉、毛織物ニ對スル作用

ホ、油、脂肪ヲ細カニ分ツコト

金網

スタンド

酒精燈

蒸發皿

試験管

硝子棒

試験紙

コップ

硝子棒

毛織物

木葉

油、脂肪

毛織物

苛性ソーダ

鹽酸

マツチ

水

三、炭酸曹達
性質及用途ニ就テ知ラシム

1、性質
イ、色

ロ、水ニ溶ケ易シ

ハ、薄メタルモノ、味

ニ、リトマスニ對スル反應

ホ、鹽酸ニ對スル作用

ヘ、油、脂肪ニ對スル作用

2、用途

1、性質
イ、色

ロ、水ニ溶ケルコト

ハ、味

ニ、アルカリ性反應

ホ、鹽酸ト作用シテ炭酸瓦斯ヲ發生スルコト

ト(石灰水ニテ檢出)

ヘ、油、脂肪ヲ細カニ分ツコト

コップ、硝子棒

試験紙

試験管

油、脂肪

硝子管、木栓

炭酸ソーダ

鹽酸、石灰水

水

△石鹼、木炭

四、石灰
性質及用途ニ就テ知ラシム

1、性質
水ト化合シテ消石灰ト

1、生石灰ノ性質

1、生石灰ニ水ヲ注ギ消石灰トスルコト

蒸發皿

硝子管

一五、アンモニア
性質及用途ニ就テ知ラ
シム

- 1、性質
- イ、色
- ロ、臭
- ハ、アルカリ性反応
- ニ、水ニ溶ケ易シ
- 2、用途
- ナ、石炭酸ニアルカリ性
- 2、消石灰ノ性質
- イ、水ニ溶ク
- ロ、アルカリ性反応
- ハ、炭酸瓦斯ニアヒテ
- 白濁ヲ生ズ
- 3、用途

- 1、發 生
- (鹽化アンモニウム
ト生石灰トヲ熱ス)
- 2、性質
- イ、色
- ロ、臭
- ハ、アルカリ性反応
- ニ、水ニ溶ケ易シ

一六、アルコール
アルコールノ性質、用
途及酒類ニ就テ知ラシ

- 1、性質
- イ、色

- 1、性質
- イ、色

- アンモニア水
- 試験紙
- 酒精燈
- 試験管
- コップ
- 鹽化アンモニウム
- 生石灰
- マツチ、水
- 硝子管
- ゴム管
- 木 栓
- 酒精燈
- 試験管
- 水
- 石灰水
- 試験管
- 生石灰
- 水

△

一七、醋 酸
性質及用途ニ就テ知ラ
シム

- 1、製 法
- 2、性質
- イ、色
- ロ、味
- ハ、酸性反応
- ニ、金屬ニ對スル作用
- 3、用途
- ロ、臭
- ハ、揮發シ易キコト
- ニ、燃エ易キコト
- ホ、樹脂ヲ溶ス
- 2、用 途
- 3、清酒、麥酒、葡萄酒

- ロ、臭
- ハ、燻ノ色
- ニ、揮發シ易シ(吸取
紙ニ水トアルコール
トヲ滴下シ揮發ノ速
度ヲ比較ス)
- ホ、樹脂ヲトカス(試
験管ニテ實驗シ溶液
ヲ厚紙ニモレバ樹脂
ノ薄層ヲ生ズ)

一八、空氣の壓力、ポンプ
空氣ニ壓力アルコト及
之ヲ應用シテツケレル

- 1、製 法
- 2、性質
- イ、色
- ロ、味
- ハ、酸性反応
- ニ、金屬ニ對スル作用
- 3、用途
- 1、空氣ニ壓力アルコト
- 2、吸上ポンプノ構造及
作用

- 1、性質
- イ、色
- ロ、味
- ハ、酸性反応
- ニ、金屬ニ對スル作用
- 1、空氣ニ壓力アルコト
- 2、吸上ポンプノ構造及
作用

- 吸取紙
- 厚紙
- アルコール
- 樹脂
- マツチ
- 水
- 試験紙
- 試験管
- 銅
- 醋 酸
- 酢
- コップ
- 硝子管
- 吸上ポンプ

ポンプノ構造作用ニ就テ知ラシム

- 3、大氣壓力ノ極限ト井戸ポンプノ能力
- 4、押上ポンプノ構造及作用

- 3、押上ポンプノ構造及作用

押上ポンプ

硝子圓筒

水厚紙

△トリセリ一實驗用具

一九、熱
熱、物ノ溫度、熱ノ傳導、熱ノ發生及熱ニヨリテ物ノ體積ノ變ズルコトヲ知ラシム

- 1、熱
- 2、物ノ溫度
- 3、物質ニヨリテ熱ノ傳導ニ良否アルコト
- 4、熱ト物ノ體積

- 1、硝子、鐵及銅ノ熱ノ傳導ノ比較
- 2、摩擦ニヨリ熱ノ發生スルコト
- 3、金屬、水、空氣ノ體積ハ熱ニヨリテ變ズルコト
- 4、△金屬ノ體膨脹實驗

熱ノ移ルコトノ實驗用具
硝子棒
鐵棒
酒精燈
固體線膨脹實驗器
フラスコ、木栓、硝子管
支持壺、蟹付油、豆、水
△金屬ノ體膨脹實驗器

二〇、蒸氣機關
水蒸氣ノ壓力及蒸氣機關ノ大要ヲ知ラシム

- 1、密閉器中ニテ沸騰セル水ヨリ發スル水蒸氣ノ壓力
- 2、蒸氣機關ノ構造及作用

- 1、蒸氣ノ壓力アルコト
- 2、△蒸氣機關ノ構造及作用

試驗管
試驗管扶
コルク
酒精燈
水

△蒸氣機關

二一、光ノ直進
發光體、光ノ直進、透明體、不透明體及陰影ニ就テ知ラシム

- 1、發光體
- 2、光ノ直進スルコト
- 3、透明體、不透明體
- 4、陰影

- 1、光ノ直進スルコト
(線香ノ光ヲゴム管ヲ通シテ見ルコト等)

線香
ゴム管

二二、光ノ反射
光ノ反射ニ就テ知ラシム

- 1、平面鏡ニ當レル光ノ反射
- 2、普通ノ物體ノ面ニ當レル光ノ反射

- 1、平面鏡ニ當レル光ノ反射(小孔ヨリ入レル光ヲ平面鏡ニテ反射セシム)

平面鏡
分度器
蠟燭
竹管
マツチ

二三、平面鏡
平面鏡ニヨリテ生ズル像ニ就テ知ラシム

- 1、平面鏡ニヨリテ生ズル一點ノ像
- 2、平面鏡ニヨリテ生ズル物體ノ像

- 1、實物ト像トヨリ鏡面ニ至ル距離相等シキコト

平面鏡
平面硝子板
尺度
蠟燭
マツチ
線香

二四、光の屈折
光ノ屈折ニ就テ知ラシム

- 1、光ガ空氣ヨリ水ニ入ルトキノ屈折
- 2、光ガ水ヨリ空氣ニ出ヅルトキノ屈折
- 3、ガラスニヨル光ノ屈折

- 1、光ガ空氣ヨリ水ニ入ルトキノ屈折
- 2、光ガ水ヨリ空氣ニ出ヅルトキノ屈折
- 3、硝子ニヨル屈折

木製ノ水槽
茶碗
銅貨
厚硝子板
針
定規
水

二五、色
色ニツキ知ラシム

- 1、プリズムニヨル日光ノ分散及集合
- 2、色ノ配合
- 3、原色、餘色

- 1、プリズムヲ通過スルトキノ屈折
- 2、光ノ分散
- 3、分散シタル光ヲ集ムルコト
- 4、色ノ配合
- 5、原色、餘色

プリズム
反射鏡
混色板
△スペクトラム圖

二六、レンズ

レンズニヨリテ生ズル像及種々ノ光學器械ニ就テ知ラシム

- 1、凸レンズニヨリ生ズル像
- 2、凹レンズニヨリ生ズル像

- 1、凸レンズニヨリテ實像ノ生ズルコト
- 2、凸レンズニヨリテ虚像ノ生ズルコト

凸レンズ
凹レンズ
蠟燭
マツチ

二七、音
音ニツキテ知ラシム

- 3、光學器械
イ、望遠鏡
ロ、顯微鏡
ハ、幻燈
ニ、寫眞器
ホ、眼鏡

- 3、凹レンズニヨリテ虚像ノ生ズルコト
- 4、種々ノ光學器械ノ構造

△光學器械

二八、磁石
磁石ニツキ知ラシム

- 1、鐵ヲ引クコト
- 2、南北ヲ指スコト
- 3、兩極ハ其性質ヲ異ニスルコト
- 4、磁氣ノ感應

- 1、鐵ヲ引クコト
- 2、南北ヲ指スコト
- 3、兩極ハ其性質ヲ異ニスルコト
- 4、磁器ノ感應
- 5、羅針盤

棒磁石
磁針
砂鐵
羅針盤
釘
縫針

二九、電 氣

靜電氣ニ就テ知ラシム 3

- 1、電氣ノ起ルコト
- 2、導體、不導體
- 3、陽電氣ト陰電氣
- 4、感應發電
- 5、雷 電

- 1、摩擦ニヨリテエボナ
イト、硝子棒其ノ他ノ
發電
- 2、金屬ノ電氣ヲ導クコ
ト、硝子ノ不導體ナル
コト
- 3、エボナイトト硝子ノ
發電ノ性質ヲ異ニスル
コト
- 4、驗電法
- 5、電氣盆
- 6、蓄電ト放電

エボナイト、硝子、金屬
等ノ發電棒、フランネル
片、絹布片、猫毛皮、電
氣振子
箔驗電器
電氣盆
燈 心
△感應起電機
△避雷針模型

三〇、電 池

電池ニ就テ知ラシム 2

- 1、電 池
- 2、電流ノ磁石ニ及ボス
作用
- 3、電流ノ方向、強弱
- 4、電磁石

- 1、重クロム酸電池ノ構
造
- 2、電流ノ磁石ニ及ボス
作用
- 3、電流ノ方向、強弱
- 4、電磁石ノ作り方及作
用

乾電池
電磁石
大小ノ銅線
銅線ト同大ノ鐵線
磁針、鐵釘
重クロム酸電池

三一、電 燈

電燈ニ就テ知ラシム 1

- 1、電流ノ發熱作用
- 2、電燈ノ構造
- 3、種々ノ電燈

- 1、電流ニヨル細キ鐵線
ノ發熱作用
- 2、電球ノ構造
- 3、アーク燈ノ構造

細キ鐵線
電池、導線、
電球、豆電球、
△アーク燈模型

三二、電 鈴

電鈴ニ就テ知ラシム 1

- 1、構造及作用
- 2、用 途

- 1、押釦ノ構造
- 2、電鈴ノ構造及作用

押釦、電鈴、
電池、導線

三三、電 信 機

電信機ニ就テ知ラシム 1

- 1、構造及作用
- イ、發信機
- ロ、受信機

- 1、構造及作用
- イ、發信機
- ロ、受信機

電信機模型
電池、導線
△電信符合圖

三四、電 話 機

電話機ニ就テ知ラシム 2

- 1、構造及作用
- イ、發信機
- ロ、受信機

- 1、構造及作用
- イ、發信機
- ロ、受信機

△説明用電話機、導線、
電池

三五、電 動 機

電動機ニ就テ知ラシム 1

- 1、構造及作用
- 2、利 用

- 1、構造及作用

簡易電動機
電池、導線

三六、人體の組立

人體ヲ組立ツル諸部分
及作用ノ大要ヲ學バシ
ム

2

- 1、骨 骼
- イ、部 分
- ロ、作 用
- ハ、骨片ノ構造

- 2、筋 肉
- イ、主ナル筋肉
- ロ、作 用
- ハ、筋肉片ノ構造

- 3、腦及内臓
- イ、腦、脊髄
- ロ、肺、心臓
- ハ、胃、腸、肝、腎等

- 4、皮 膚

人體骨格ノ模型又ハ掛圖
腦及内臓模型又ハ掛圖
人體模型

三七、食 物

食物ノ主養分並ニ食物
ノ種類及其含有養分ニ
ツキテ學バシム

2

- 1、食物ノ主ナル養分
- イ、澱 粉
- ロ、脂 肪
- ハ、蛋白質
- ニ、糖 類

- 2、食物ノ種類ト養分
- イ、穀 類

- 1、澱 粉
- イ、水ニ溶ケザルコト
- ロ、沃度液ヲ注ギ藍色
トナルコト

- 2、脂 肪
- イ、水ニ溶ケザルコト
- ロ、熱ニヨリテ液體ト

葛 粉
牛 脂
胡 麻 油
雞 卵
砂 糖
其他ノ普通食品
食品分析表

三八、消 化

食物ノ消化ニツキテ學
バシム

2

- 1、口
- イ、齒
- ロ、舌
- ハ、唾 液

- 2、胃、胃液
- ハ、肝臓、胆汁
- 3、脾臓、脾液
- 4、肝臓、胆汁
- 5、腸、腸液
- イ、小 腸
- ロ、大 腸

- 6、消化物ト不消化物
- 7、消化器ノ衛生

- 3、混合ノ必要ナルコト
- 4、調理上ノ注意

- 3、蛋白質
- イ、水ニ溶ケザルモノト
溶ケザルモノトアル
コト
- ロ、熱スレバ多クハ凝
固スルコト
- 4、糖 類
- イ、水ニ溶ケ易キコト

- 1、唾液ノ澱粉ヲ糖化ス
ル作用ノ實驗
- 2、蛋白質ノ消化
- 3、脂肪ノ乳 化
- 4、齒ノ酸ニヨル腐蝕

試立表
沃度液
コップ
試験管
水、湯
アルコールランプ
消化器ノ模型又ハ掛圖
齒
人體模型
澱 粉
卵白又ハ肉片
ヘプトン
食用油
膽 汁
試験管
稀鹽酸

三九、血液の循環
血液ノ循環ニツキテ學
バシム 2

- 1、血液
- 2、心臟
- 3、位置、大サ、作用
- イ、動脈
- ロ、靜脈
- 4、血液ノ循環及脈搏
- 5、身體ノ狀態ト脈搏トノ關係

- 1、鼓動
- 2、脈搏
- 3、血液

循環器ノ掛圖
血液
顯微鏡
聽診器

四〇、呼吸
呼吸及換氣法ニツキテ
學バシム 2

- 1、肺及氣管
- 2、肺ノ構造及位置
- 3、呼吸ト外氣
- 4、呼吸作用
- 5、呼吸ノ回数
- 6、呼吸スル空氣量

- 1、肺ノ位置
- 2、呼吸ニ炭酸瓦斯ヲ含
有スルコト
- 3、呼吸ニ含有スル水分

肺及氣管ノ模型並ニ構造
圖
呼吸氣實驗裝置
鏡

四一、尿と汗
尿及汗ノ排泄並ニ體溫
ニツキテ學バシム 1

- 1、尿、腎臟
- 2、汗及皮脂、皮膚

- 1、體溫

腎臟ノ模型又ハ掛圖
皮膚ノ構造圖

四二、腦脊髄及神經
腦脊髄及神經ニ就テ學
バシム 1

- 1、腦
- 2、大腦、小腦、延髄
- 3、脊髄
- 4、神經
- 4、腦脊髄及神經ノ衛生

神經系統模型又ハ掛圖

四三、感覺器
感覺器ニ就キテ學バシム
△ 1

- 1、皮膚
- 2、舌
- 3、鼻
- 4、耳
- 5、眼
- 6、感覺器ノ衛生

- 1、各感覺ノ衛生

各感覺器ノ模型又ハ掛圖

四四、衛生
日常衛生ニ關スル事項
ヲ學バシム 2

- 1、衛生ノ目的
- 2、完全ナル發育
- 3、健康保持増進
- 4、個人衛生

- 1、病原體
- イ、形態
- ロ、繁殖
- 2、消毒

病原菌ノ標本及掛圖
其他ノ病原體
顯微鏡

檢 査 器

- イ、體外ニ於ケル衛生ノ要件
- ロ、疾病ニ對スル注意
- ハ、體外ニ於ケル衛生ノ注意
- ニ、身體ノ鍛鍊
- 三、傳染病ノ種類及注意
- イ、空氣ノ媒介ユヨルモノ
- ロ、飲食物ノ媒介ニヨルモノ
- ハ、接觸傳染スルモノ
- ニ、傳染病ニツキテ注意
- 四、公衆衛生
- イ、施設
- ロ、心得
- 五、消毒法

別種の尋常小學校理科教授細目

尋常一學年。第一學期。約廿八時限。

時期	四月	五月	附録
總題目	のお花庭	春の野原	初夏の水邊
研究材料と教授時限	一、櫻・桃・椿の花とそれに集る蟲(2) 二、學校園の花(1)	一、春の草と花 蓮華・蒲公英・葦・土筆 其他の 花と草(2) 二、油菜の花とそれに集る蟲(2) 三、つつじの花と夫に集る蟲(2) 四、野鳥―燕に雀、其他の鳥(2) ○雞と親雞(1)	一、水邊の動物 蛙・蛇 其他の動物(4) 二、水邊の植物 蓮・花蒲葦 其他の草花(4)
備考	一、鶏卵を親雞に抱かしめ、時々兒童に(午後)觀察せしむ。 二、學校園の花間に戯る昆蟲の觀察。 三、馬鈴薯の植付け。	一、燕の生活狀態を觀察せしむ。 二、金魚・鮪・目高を水族器に飼育し其の生活狀態を觀察せしむ。 三、蛙を水族器に飼育す。	一、ゲンゴロウを初めとし池の小動物を水族器に飼育し其の生活狀態を觀察せしむ。 二、蝸牛を養蟲箱に飼はし、其の生活狀態を觀察せしむ。 三、馬鈴薯の除草・施肥・中耕。

時期	月 六	月 七	月 九	月 十
総題目	初夏の 象	池の 動物	初秋の 象	初秋の 象
研究材料と教授時限	一、風・雲・雨(1) 二、金魚・鮎・目高等(1) 三、蚯蚓(1) 四、池の小動物(2) 五、池の植物(2)	一、池中の小動植物は附近の池で研究し更に學校の水族器で飼育したものに就いて研究させる。 二、馬鈴薯收穫。	一、朝顔とヒマハリ(1) 二、蟬のいろく(2) 三、バッタのいろく(2) 一、あらし(1) ○夜の空—星と月(1)	一、稲とそれ集る蟲(2) 二、トンボのいろく(2) 一、秋鳴く蟲(1)
備			一、陸族器にバッタを飼育し。 二、馬鈴薯收穫後の土地に廿日大根を播種させる。	一、廿日大根の間引、除草、施肥。 二、夜の空、星と月は家庭で研究せしめ其の結果を學校で取扱ふ。
考			一、陸族器にコホロギを初め秋鳴く蟲を飼育し其の生活状態を観察させる。 二、廿日大根の收穫。	

尋常一學年。第二學期。約廿九時限。

時期	月 一	月 二	月 十	月 二十
総題目	冬の自 然現象	焚火と 玩具	人の身 體	と草花
研究材料と教授時限	一、霜・霜柱・雪と雪どけ(1)	一、焚火とお芋(2) 二、アガリツコサガリツコ(2) 三、彌治郎兵衛(2)	一、健康に就いて(1)	一、秋の野の草花(2) 二、栗・檜・椎等の果實(2) 三、種子の散布(2) 四、稲の收穫(2) 五、果物屋に集る果物のいろく(1)
備				一、チュウリップ・水仙(球根)を栽培させる。 二、果物を研究して後試食せしむ。(各兒十錢宛持参)
考		一、サツマ芋の代五錢各兒持参。 二、豆と竹を與へて彌治郎兵衛を拵らへます。		一、チュウリップや水仙に對し冬越しの準備をさせる。

尋常一學年。第三學期。約廿時限。

時期	三月	四月	五月
総題目	早春の草花と ふ動物 人の飼	お花庭	野原の春
研究材料と教授時限	一、福壽草・梅・水仙・チユウリツ ア(2) 二、草花の種子蒔き(2)	一、櫻・桃・椿の花とそれに集る蟲 (2) 二、學校園の花(1)	一、春の草と花。 蓮華・蒲公英・葎・土筆(2) 二、油菜の花とそれに集る蟲(2) 三、木の萌芽(2) 四、毛蟲と青蟲(2) 五、つつじの花と花に集る蟲(1)
備 考	一、ヒマハリ・朝顔を栽培せしむ。	一、雞卵を親雞に抱かしめ時々(午後)觀察せしめ廿日頃からは随分と注意させる。 二、櫻の子房がサクランボになる迄時々注意して觀察させる。 三、落花生の播種。 四、馬鈴薯を植えしむ。 一、燕の生活状態を觀察研究せしむ。 二、青蟲を飼育箱に飼養し其の變態し行く状態を觀察させる。 三、琉球つつじの花を有する小枝を着色水中に挿入し、植物體內に液汁上昇の有様を觀察させる。	六、野鳥―燕に雀其の他の鳥(2) ○雞と親雞(1) 一、水邊の動物 蛙・蛇其の他の動物(3) 二、水邊の植物 蓮・花苧蒲 其の他の草花(3) 三、蝸牛(1) 一、風・雲・雨附小川(1)

尋常二學年。第一學期。約廿八時限。

時期	七月	六月	五月
総題目	池の動物	初夏の氣象	初夏の水邊
研究材料と教授時限	一、金魚・鮎・目高(1) 二、蚯蚓(1) 三、池の小動物(2) 四、池の植物(2)	一、風・雲・雨附小川(1)	一、水邊の動物 蛙・蛇其の他の動物(3) 二、水邊の植物 蓮・花苧蒲 其の他の草花(3) 三、蝸牛(1)
備 考	一、池の小動物は附近の池で研究し後學校に飼育させミズスマシ類の小動物を研究させる。 二、馬鈴薯の收穫。	四、金魚・目高・鮎を水族器に飼育す。 五、落花生・馬鈴薯の除草・中耕。 一、蛙を陸族器に飼育し其の生活状態を觀察させる。 二、蝸牛を飼育箱に飼養し其の生活状態を研究させる。	六、野鳥―燕に雀其の他の鳥(2) ○雞と親雞(1) 一、水邊の動物 蛙・蛇其の他の動物(3) 二、水邊の植物 蓮・花苧蒲 其の他の草花(3) 三、蝸牛(1)

尋常二學年。第二學期。約廿九時限。

時期	九月
総題目	初秋の蟲と花
研究材料と教授時限	一、朝顔とヒマハリ(1) 二、蟬のいるノ(2) 三、バッタのいるノ(2) 一、あらし(1)
備 考	

時期	十月			十一月		十二月
	氣象	秋の田畑	植物の繁殖	秋のお庭	初冬の森林	人體の
尋常二學年。第三學期。約廿時限。	一、夜の空・月・北斗七星(1) 學校で整理す。 一、蠶豆の播種。 二、キリギリス・コホロギ等を陸族器に飼育し其の生活状態を観察させる。	一、稻とそれに集る蝶(2) 二、蜻蛉のいろ(2) 三、秋鳴く蟲(2) 四、秋の野の草花(2)	一、栗・櫛・椎等の果實(2) 二、種子の散布(2) 三、稻の收穫(2) 四、果物屋に集るいろ／＼の果實(1)	一、菊の花とそれに集る蟲(1) 二、紅葉と落葉(2)	一、落葉樹と常緑樹(2) 二、喬木・灌木・蔓木・蔓草(2)	一、健康に就いて
總題目	尋常二學年。第三學期。約廿時限。					
研究材料と教授時限	備					
人體の	考					

時期	二月			三月	四月
	焚火と玩具	人の飼ふ動物	早春の植物と種子	お庭の花	總題目
尋常三學年。第一學期。約廿八時限。	一、焚火とお汁粉(2) 二、アガリツコサガリツコと天秤棒(2) 三、紙の風車(2) 四、兎の船こぎ。	一、犬(2) 二、兎(2) 三、馬(2) 四、小鳥屋に飼つたいろ／＼の小鳥(2)	一、福壽草・梅・水仙(2) 二、草花の種子蒔き(1)	一、櫻の花と花に集る蟲(1) 二、學校園の草花(1)	一、薩摩芋の植ふ付け。 二、朝顔を栽培させる。
總題目	尋常三學年。第一學期。約廿八時限。				
研究材料と教授時限	備				
人體の	考				

時期	五月	六月	七月
總題目	春の野原	初夏の水邊	海邊の動物植物
研究材料と教授時限	三、木の新芽(2) 四、藤の花(1) 五、野鳥—燕と雀(2) 六、野の花の色と香(2)	一、水邊の動物—蛙と蛇(2) 二、水邊の植物—蓮と他の水草(2) 三、蝸牛とタニシ(2)	一、風・雲・雨附小川(1) 一、鮒に金魚(1) 二、蚯蚓(1) 三、池の小動物(2) 四、池の植物(1)
備 考	一、燕の營巢・産卵・孵化の状態を常に注意して観察せしむ。 一、茄子の苗を移植す。	一、蛙を水族器に飼育し其の生活状態を観察させる。 一、薩摩芋の除草・中耕・施肥。 一、蝸牛を硝子器に飼育し食法を研究させる。 一、タニシ・ニナを水族器に飼育し其の生活状態を研究させる。	一、海邊にあるいろいろの動物といろいろの植物(3)
時期	尋常三學年。第二學期。約廿九時限。		
總題目	一、朝顔(1)		
研究材料と教授時限	一、バツタ・コホロギ(秋鳴く蟲)を陸族器に飼育し生活		
備 考	一、バツタの中耕・施肥・除草をさせる。		

時期	九月	十月	十一月	十二月
總題目	初秋の花と蟲	秋の畑	植物の繁殖	秋の庭と動物
研究材料と教授時限	一、夜の空 北極星と他星の運動(1)	一、茄子(1) 二、稻と其の害蟲(2) 三、ヤゴと蜻蛉(2) 四、秋鳴く蟲(1) 五、秋の草花(2) 六、きのこ(2)	一、栗・檜・椎の果實(2) 二、種子の散布(2) 三、芋と百合(2) 四、果物屋にあるいろいろの果物(2)	一、菊の花(1) 二、紅葉と落葉(1) 三、冬芽(2) 三、動物の冬眠(1)
備 考	一、状態を観察させる。 一、ヤゴを水族器に飼育し観察せしむ。 一、夜の空は宿題として家庭で研究せしめ其の結果を學校で取扱ふ。 一、蓮華の種子播種。 一、黒い紙の上に開いた菌傘をのせ胞子の落ちた状態を観察実験させる。	一、薩摩芋の收穫。 一、果物の代として十錢宛各兒持參。	一、飼育せるヒキ蛙・トノサマ蛙を中心にして研究させる。	

尋常三學年。第三學期。約廿時限。

時期	一月	二月	三月	時期
總題目	人の身體	焚火と玩具	人の飼ふ動物	總題目
研究材料と教授時限	一、健康に就いて(1)	一、焚火(2) 二、寒暖計の讀み方(1) 一、風(2) 二、麥稈の豆吹上げ(1) 三、鉄・棒で石を持ち上げること(2)	一、鶏(1) 二、犬(2) 三、兎(1) 四、猫(2)	研究材料と教授時限
備	一、之から攝氏の目盛で氣温を表示させる。 一、簡単な風を造らせて研究させる。 一、麥稈と豆とを與へて豆吹上を造らせて研究させる。	一、竹片・麻絲・スキ(又は菅)の莖を與へて矢と弓を造らせて研究させる。(宿題) 一、木片を與へて竹トンボを造らしむ。 一、竹筒・綿布片・矢竹を與へて水鐵砲を造らせて研究させる。		備
考				考

尋常四學年。第一學期。約廿八時限。

四月	五月	六月	七月
春の野原	養蠶と養鶏	人の食ふ魚	初夏の森林
一、櫻(1) 二、種子の發芽(1) ○土筆の胞子觀察 三、れんげ(2) 四、毒草と藥草(2) 五、いろ／＼の蛙(2) 六、竹(2)	一、蠶の發育史(1) 二、鶏(1)	一、魚屋に集るいろ／＼の魚(2) ○油菜とからしなの果實(1)	一、松の花(1) 二、栗の花(1) 三、蜘蛛(2) 四、蚜蟲と蟻(2)
一、顯微鏡で土筆の胞子を觀察させる。 一、昨年十月に播種した蓮華に就いて研究させる。 一、水鉢に稲の種子を蒔く。 一、水清にいろ／＼の蛙を飼つて其の生活狀態を研究させる。 一、胡瓜の播種。	一、茄子の苗植ふ。 一、蠶は學校の近所にある父兄の宅で飼育して研究させる。	一、松の花粉を顯微鏡で観させる。 一、水鉢に稲苗を植ふさせる。	一、夏至を中心として夏の氣候に就いて研究させる。 二、夏至を中心として前後三週間絶えず太陽の位置觀察。(観測器に依つて毎月三四回宛繼續的に實測させる)
季節	水邊		
○雨・泉・川(1) 一、夏至(1) 二、かび(1)	一、花苜蓿(1) 二、螢(1)		

時期	月	三	月	二
總題目	季節	玩具		
一、蛙の卵と其の發育史(2)	○太陽の力(1)	一、春分(2)	三、空氣鐵砲。磁石ゴマ。ヤブメケ人形(2)	四、鶏追ひ。人形の體操。狸(2)
			五、舌出しダルマ。兎と猫。蛇(2)	六、潜水人形。三笠ゴマ。往復自動車(2)
			七、ゲイヤスコープ(活動ゴマ)	八、シソウ。プロペラー。鐵琴
			九、豚の坂登り。鳥と笛(1)	
				どうなつた時に開くか、三、どうなつた時に閉ぢるか
				四、下くちばしのもとに糸をつけたわけ。
				人形の體操
				一、糸を引くとなぜ左足が上り、左手と右足が下るか
				二、糸をゆるめるとなぜ左足が上り、右手と左足が下るか
				三、球はなぜうごくか
				三笠ゴマ
				一、細い棒の先でコマが落ちないで廻るわけ。
				二、大きいコマほど廻り易いわけ。
				三、三つのコマをかざれて廻して見よ、どうなつたか
				フグの運動
				一、針金をどういふ位置に置いた時最もうまく運動するか
				二、なぜこの運動を起すか
				三、糸を初め少し動かす必要は何故か
				一、春分を中心として此の頃の氣候に就いて研究させる
				二、六月以來の繼續的に觀測した結果を基礎として研究させる
				一、ヒキ蛙・トノサマ蛙の卵を水槽に入れ、今後其の發生し行く有様を觀察研究させる

尋常五學年。第一學期。約廿八時限。

研究材料と教授時限

備

考

月七	月	六	月	五	月	四
海と海の動植物	家に住む虫	初夏の氣象と器具	果物と果菜	森の動植物	春の畑	
一、海・海藻・蟹・貝○食鹽(4)	一、子子と蚊(1) 二、蛆蟲と蠅(1)	一、水準器(2) 二、夏至と日影の長さ測定器(2) 三、ウツビ(1) 四、雨量計(2)	一、八百屋に集る果菜(2) 二、果物屋に集る果物(2)	一、竹(1) 二、花のいろく(2) 三、松・マツケ蟲(2) 四、森林・蘚苔(2)	二、種子の發芽(1) 三、蠶豆・麥(2) 四、蜜蜂(1)	
						一、去年十一月に播種した蠶豆・麥に就いて研究させる。
						一、果物を研究させて後試食せしむ。 (果物代として各兒十錢宛持参)
						一、夏至を中心として夏の氣候に就いて研究させる。
						二、太陽の運行に就いては春分以降兒童の繼續的に觀測したる結果に基いて教授す。
						一、之より雨量の測定をなさしめ其の結果を表示させる。
						一、子子を飼育し、蚊になる迄研究させる。
						一、蛆蟲を飼育し、蠅になる迄研究させる。
						一、附近の海岸と普通教室で研究させる。

尋常五學年。第二學期。約廿九時限。

時期	九 月	十 月	十 月	二十 月
總題目	バクテリアの作用	氣象と機械	玩具と家具	地殼
研究材料と教授時限	一、バクテリア(2) ○滴蟲(1) 二、細胞組織に原形質の運動(2)	一、寒暖計(3) 二、時計(2) 三、氣壓計(2)	○濕度計 一、自働機械體操。金魚鉢(3) 二、ヨット。横エンジン(2) 三、汽船。汽車。天秤(4)	一、水成岩と地層(2) 二、火山と火成岩(2)
備 考	一、バクテリアを培養し、顯微鏡で觀察せしめ尙繁殖法に就いても研究させる。 二、滴蟲を顯微鏡で觀察させる。 三、シヤジクモ・フラスモ・トウナスのヒゲ・紫露草等の細胞・原形質に就いて顯微鏡を使用して研究させる。 一、寒暖計研究の際熱による物體の膨脹に關する現象も取扱ふ。 二、之より氣壓の觀測をなさしめ其の結果を表示せしむ。 附、毛細管引力に關する現象も取扱ふ。	自働機械體操 一、自働機械體操はどうか。二、機械體操をする仕掛を見出せ。三、此の二つの運動のほやさをしらべなさい。四、ネギを一回れちたらプランコは何回ふつたか。	汽 車 一、蒸氣はどこで出來てどこを傳つてシリンダーに入るか。二、蒸氣の運動を比べよ。三、左右のレールの外側が高いわけ。	

尋常五學年。第三學期。約廿時限。

時期	一 月	二 月	三 月	月
總題目	人の身體	燃ゆる礦物と家具	普通の礦物	蒸汽と機械
研究材料と教授時限	一、健康に就いて(1)	一、燐寸(2) 二、石炭とコークス(2) 三、石炭瓦斯(2) 四、洋燈と蠟燭(2)	一、黄銅礦(1) 二、黄鐵礦(1) 三、磁鐵礦(1) 四、赤鐵礦(1) 五、水品(1)	一、スチーム導管、ラジエーター 三、蒸汽機關(2)
備 考		一、燐寸で火を發せしめ得る理。 二、發熱に關する現象を取扱ふ。		一、スチーム導管にラジエーター利用の理。 二、氣流の實驗もなさしむ。

尋常六學年。第一學期。約廿八時限。

時期	四月	五月	六月	七月
總題目	植物體の構造と作用 葉・根・莖(2) 植物の分類と植物の利用(3)	音を應用した家具 石油を應用した器具	光を應用した器具	磁石と電氣を應用した器具 電話機(2)
研究材料と教授時限	一、植物體の構造と作用 葉・根・莖(2) 二、植物の分類と植物の利用(3)	一、ピアノ或は琴(2)	一、石油と揮發油 附自動車(3)	一、磁石(1) 二、呼鈴(2) 三、電燈(2) 四、電車(2) 五、電話機(2) 六、電話機(2)
備 考	一、葉の澱粉同化作用、水分蒸散作用等を實驗させる。 二、鋸屑を鉢に入れ水に浸し、これに麥・油菜等の種子を蒔かせ發芽せしめ殊に根毛に注意して觀察させる。 一、種々の音を發し得る理、ピアノの構造、音の發生、音の高低強弱、音色のある理。 二、音に關する現象も取扱ふ。	一、平面鏡に姿うつる理。 二、凹面鏡を燈火の側に置き反射鏡として使用した時なご明い。 三、擴大鏡はなご大きく物が見えるか。 光に關する現象を取扱ふ。(反射・屈折)	一、電車 二、電車の走る理由。(モーターの理) 三、電車の速度を變じ得る理。 一、水の所在。二、水の成分。三、水の良否鑑別法。四、比重に關する現象を取扱ふ。 一、石鹼製造法。三、石鹼の種類。四、石鹼と水との關係。	

尋常六學年。第二學期。約廿九時限。

時期	九月	十月	十一月	十二月
總題目	家具	火を應用した家具	人の住家	動物の生活
研究材料と教授時限	一、砂運び(2) 二、洋傘(2) 三、荷車(2) 四、自轉車(2) 五、霧吹と吸入器(2) 六、水入器とポンプ(2) 七、秤秤(2)	一、火鉢と木炭(2) 二、鐵瓶と藥罐(2) 三、コンロと火消壺(2) 四、風呂・消火器(2) ○灰と灰汁(2)	一、家(2)	一、動物の種類と生活(2)
備 考	一、洋傘 二、洋傘の雨水の漏らざる理(水の表面張力)。二、中骨と外骨との角度關係(力の分解)。三、骨の形と其の理。四、中骨を太くせる理由。五、鋼鐵の彈性。六、中骨が外骨に着ける位置。七、傘の歴史。 一、自轉車 二、自轉車で速に走り得る理由(同轉・摩擦・送り)。二、自轉車で樂に走り得る理(同轉・摩擦・ゴム・彈性・クランク)。三、自轉車に乗り走る間は倒れざる理(重心・慣性・重心の移動)	鐵瓶と藥罐 一、鐵瓶で湯の沸く理。二、沸騰の現象・蒸發・湯氣・水蒸氣。三、藥罐の方速に沸く理。四、熱の傳導に關する現象をも取扱ふ。	家 一、家を建てるによき土地。二、土臺を堅固にする理。三、家を南或は東向にする理。四、床其の他土臺等を水平にする理。五、柱を垂直にする理。六、床を地面より離す理。七、屋根を傾斜させる理。八、換氣を良好ならしむる方法。	

尋常六學年。第三學期。約廿時限。

時期	月 一	月 二	月 三
總題目	人 の 身 の 體		
研究材料と教授時數	一、食事及食事の心得。 附 胃腸の位置・形状・作用の大略(3) 二、呼吸の心得。 附 氣管と肺の位置・形状・作用の大略(3) 三、血の出た時の心得。 附 血液の役目・心臓と血管の位置・形状・作用の大略・脈搏と體温のこと(2) 四、運動及姿勢の心得。 附 主なる骨と筋肉の位置・形状・作用の大略(3) 五、皮膚は何故清潔にせねばならぬか。 附 汗及尿はどこからどうして出るか(3) 六、感覺はどうして起るものか。 附 腦神經の形状・位置等(2) 七、勉強すること、遊ぶこと、寝ることの必要。 附 腦のはたらきの大略(2) 八、傳染病に對する心得。 自分に傳染しない様に、他人に傳染しない様に(2)		

小學校教材動物分類表

文部省編纂の小學理科書・小學地理及び小學讀本中に現れた動物の名稱を抄出して参考の爲めに次に列記する。

表中の略語例

尋 讀	三	尋常小學讀本	卷	三
尋 理	五	尋常小學理科書	第	五學年
新 三	下	高等小學讀本	新制	三年用下

* 印を附したるは、理科書の備考欄にのみあるものである。

同じ動物でも異名にて現れたものは、これを別項に掲げた。例へば、蚜蟲、「ありまき」、「あぶらむし」等の如きものである。又文字の用ひ方の普通と異なるものはそのまゝに掲げた。例へば、のすり(のすり)、袋鼠(カンガル)等の如きものである。

第一、脊椎動物

一。哺乳類

- 一、猴類 猿(高理一・高讀二・高地二・尋讀一・十一) 猩猩(高地一・高地二・高理一)

二、食肉類

猫(高理一・尋讀一・三・八・十・新三下)
 *ゴリラ(高理一) *チンパンジー(高理一) 虎(高理一・高地三・尋讀一・高讀三・八・新三下)
 獅子(高理一・高地一・二・尋讀十一・十二・高讀二) 犬(高理一・二・七・十・高讀二)
 狐(高理一・尋讀四) 狸(高理一) いたち(同上) かはうそ(同上)
 らつこ(高理一・尋地二・高地二・尋讀七)
 ビユーマ(高地二)
 狼(尋讀十二・新三上) 熊(高地二・高理一・高讀二) 熊(高理一・尋讀六・十・高讀三)
 海豹(尋地二・高理一) *あしひ(高理一) なつとせい(高理一・尋地二・尋讀七・十一)

三、齧齒類

兎(高理一) 鼠(高理一・尋讀十二・新三下) 白ウサギ(尋讀四)
 野ウサギ(尋讀九) 栗鼠(尋讀十二・高地二) レミング(尋讀十二)

四、長鼻類

五、有蹄類

奇蹄類 馬(尋理五・高理一・高地一・尋讀三・十・新三下) 驢馬(尋理五・高理一) 騾(尋理五)
 犀(高理一・高地一・高地二) セブラ(高地二) アラビヤ馬(尋讀十一)
 偶蹄類 牛(尋理五・高理一・尋地二・高地一・尋讀一・二・三・十・新三下) 羊(高理一・高地一・尋讀十)
 山羊(高理一・尋讀十・高讀二・新三下) 鹿(高理一・尋讀一・五・十)
 駱駝(高理一・高地一・尋讀六) 猪(高理一・高地二・尋讀四) 豚(高理一・尋地三・尋讀十・高地二)
 水牛(尋理五・尋地二・高地二) 馴鹿(高地一・高地二) シラフ(高地一・高地二)

六、游泳類

(鯨類) *じやかうじか(高理二) 河馬(高地一・二) リヤマ(高地二)
 アルバカ(高地一・二) ヤク(高地二) 野牛(尋讀十二・新三下)
 ひもしか(尋讀十二) 鯨(高理一・尋地一・尋讀七・十・新三下) いるか(尋讀七・高理一)
 *まつかうくら(高理一) *せみくら(高理一)

七、食蟲類

もぐら(高理一) 蝙蝠(高理一・尋理五・尋讀五) おほかうもり(高理一)

八、翼手類

カンガルー(高理一・高地一・高地二) 袋鼠(高讀二)

九、貧齒類

鴨嘴獸(高地一・高地二)

一〇、有袋類

二、鳥類

一、猛禽類 鷲(高理一・尋讀八) 鷹(高理一・尋讀八) 鷹(高理一・尋讀八)
 ふくろふ(高理一・尋讀八) みみづく(高理一・尋讀八) コンドル(高地二)
 *いねわし(高理二) *おほわし(高理一) *くまたか(高理一)
 *はやぶさ(高理一) *のすり(高理一) ほととぎす(高理一・高讀三) 鸚鵡(高讀二)
 きつつき(高理一) インコ(高讀二)

二、攀食類

三、鳴禽類

燕(尋理五・高理一・尋讀一・六・八・十二)

雀(高理一・尋讀一・十)

*こしかつばめ(尋理五)

*いはつばめ(尋理五)

鶯(高理一・尋讀四・八・高讀二)

めじろ(高理一)

カナリヤ(高理一)

カラス(尋讀一・三・四・十)

ヒバリ(尋讀三・七)

がはせみ(尋讀八)

いすか(尋讀八)

ひよ(尋讀十二)

つぐみ(尋讀十二)

四、鳩類

鳩(高理一・尋讀一)

*どばと(高理一)

*きじばと(高理一)

五、鷓類

鷓(尋理五・高理一・尋讀二・高讀八・十・新三下)

雉(高理一・尋讀一・尋讀八)

*野生の鷓(尋理五)

*しやし(尋理五)

*ちどり(尋理五)

*ちやば(尋理五)

*コーナン(尋理五)

*プラマ(尋理五)

*スパノツシユ(尋理五)

キンケイ(高讀二)

*長尾鷓(尋理五・高讀三)

孔雀(高理一・高地一・二・高讀二・尋讀八)

山鳥(尋讀八・高讀二)

七面鳥(尋讀八・十)

六、涉禽類

丹頂鶴(高理一・高讀二)

*あれはづる(高理一)

*まなづる(高理一)

鷺(高理一・尋讀八・高讀二・三)

くひな(尋讀八)

ヨシノリ(高讀二)

*しらすぎ(高理一)

*あなざき(高理一)

*こぬさき(高理一)

七、游禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

*あひる(尋理五・高理二・尋讀八・十・高讀三)

鴨(高理一・尋理五)

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

八、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

九、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十一、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十二、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十三、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十四、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十五、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十六、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十七、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十八、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

十九、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十一、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十二、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十三、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十四、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十五、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十六、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十七、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十八、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

二十九、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十一、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十二、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十三、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十四、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十五、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十六、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十七、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十八、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

三十九、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

四十、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

四十一、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

四十二、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

四十三、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

四十四、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

四十五、走禽類

鴨(尋理五・高理一・高讀二)

鴨(尋理五・高理一)

鴨(尋理五・高理一)

- 一、硬骨類
 - 鯛(高理一・高讀二・尋地二・高地二・尋讀一・尋讀七) 鯖(高理一・尋讀七・高讀二)
 - まぐろ(高理一・尋讀七) 鰹(高理一・尋地一・高地二・尋讀七・高讀二)
 - 鮪(高讀二・尋讀七) ぐち(尋地二)
 - ペラ(新三上) アヤ(尋讀七・高讀二)
 - イサキ(新三上) コチ(尋讀七)
 - ひらめ(高理一・尋讀七・九) かれひ(高理一・尋讀七・九・高讀二)
 - 明太魚(高讀一・高讀二・新三下) たら(高理一・尋讀十一・尋地二・高讀二)
 - 鮪(尋理六・高理一・尋讀一・三) 鯉(高理一・尋讀一・二・三・五・高讀二)
 - あゆ(高理一・高讀二・尋讀十一) なまづ(高理一) うなぎ(高理一・高讀二・新三下)
 - 鱒(高理一・尋讀十一・尋地二・高讀二) ハモ(尋讀七)
 - 鮭(高理一・尋讀十一・尋地二・高地一・高讀二) 鱒(高理一・高地一・尋地一・高地二・尋讀七・高讀二)
 - 鱧(高理一・尋地二・高地一・高讀二・尋讀十) キンギョ(尋理六・高讀二・尋讀三・尋讀十二)
 - 鱈(新三下) とびのうな(高理一・尋讀七) 鱧(尋讀十二)
 - しらうな(高讀二) ふぐ(高理一)
- 二、軟骨類
 - さめ(高理一) あかえひ(高理一) ロニザメ(尋讀四) ニヒ(尋讀七)
- 三、硬鱗類
- 四、肺魚類
- 五、圓口類

第二、節 足 動 物

一、昆 蟲 類

- 一、直翅類
 - こほろぎ(尋理五) 松蟲(尋讀五・尋理五・高讀二) 鈴蟲(尋讀五)
 - くつわ蟲(尋讀五) きりぎりす(尋理五・尋讀五) 馬おひ蟲(尋讀五)
 - 蝗蟲(高讀一) 飛蝗(高讀一) 蚊蠅(高讀一)
 - *つづりさせ(尋理五) *えんまこほろぎ(尋理五) *げら(尋理五)
 - *かいたしき(尋理五) *かんたん(尋理五) *がむし(尋理五)
- 二、鞘翅類
 - 螢(尋理五・尋讀三) げんごろう(尋理五) *がむし(尋理五)
 - みづすまし(尋理五・新三上) 泥蟲(高讀一) *げんじはたる(尋理五)
 - 瓢蟲(高讀一) シヤムシ(尋理五) *へいけはたる(尋理五)
 - *くさばたる(尋理五) 天牛(高讀一) ひめこがね(高讀一)
 - さるはむし(高讀一) 瓜蠅(高讀一)
- 三、鱗翅類
 - 蝶 類 もんしろてふ(尋理五・高讀一) 蝶(尋讀五) あげはのてふ(尋讀九)
 - 木の葉蜂(尋讀九) 稻葉捲蟲(高讀一・尋讀十一)
 - 蛾 類 すぬむし(尋理五・高讀一) 蠶(尋理六・尋讀七・尋讀十一・高讀二・新三下)

- うめけむし(高理一)
- はまきむし(尋讀十二)
- 天蠶(高讀一)
- 二化螟蟲(尋理五)
- 蜜蜂(高讀一・尋讀十一・高讀十二)
- かぶらばち(高讀一)
- ばびほう(高讀一)
- 蚊・ぼうふり(尋理五・高理一)
- みどりうんか(尋理五)
- 油蟲(尋讀十一)
- 浮塵子(高讀一)
- *みづかまきり(尋理五)
- *こおひむし(尋理五)
- 貝殼蟲(高讀一)
- ヤコ(尋理五)
- むぎわらとんぼ(高讀一)
- とうすみとんぼ(高讀一)
- エダシヤクトリ(尋讀九)
- あなむし(高讀一)
- 柞蠶(高讀一)
- 蠶(高理一・尋讀十二)
- こねかばち(高讀一)
- 螟蟲蜂(高讀一)
- 蚕(高讀一)
- 蟹蛆(高讀一)
- ありまき(高理一)
- セミ(尋讀一)
- 椿象(高讀一)
- *とびうんか(尋理五)
- *いなづまよこばひ(尋理五)
- *葡萄のフィロキセラ(高理一)
- トンボ(尋理五・高讀一・尋讀一・三)
- やんま(高讀一)
- 尺蠖(高讀一)
- 地蠶(高讀一)
- 三化螟蟲(尋理五)
- 蜂(尋讀九)
- かもどきばち(高讀一)
- 虻(尋理五)
- はへ(高理一)
- 蚜蟲(高讀一)
- ひぐらし(新三上)
- *あめんぼ(尋理五)
- *たがめ(尋理五)
- 綿蟲(高讀一・高理一)
- 五倍子蟲(高讀一・高理一)
- 白蟻(尋讀十二)
- おはぐるとんぼ(高讀一)

八、彈尾類

七、脈翅類

六、有吻類

五、双翅類

四、膜翅類

二、蜘蛛類

一、眞正蜘蛛類

蜘蛛(尋理六・尋讀三・尋讀十二) *じよろーぐも(尋理六) *ひらたぐも(尋理六)

二、蟻類

三、壁蝨類

三、多足類

四、甲殼類

一、胸甲類

いせえび(尋理六) カニ(尋讀一・尋讀七) エビ(尋讀七・尋理六)

二、節甲類

*しばえび(尋理六) *くろまえび(尋理六)

三、切甲類

第三、軟體動物

一、頭足類

タコ(尋讀七) いり(尋理六・高讀二・高地二・尋讀七・九) *まいり(尋理六)

二、腹足類

*あぶりいか(尋理六) ヤリイカ(高讀二・尋理六) スルメイカ(尋理六・高讀二)
ミミイカ(高讀二) あはび(尋理六・尋讀三・高讀二)

三、斧足類

*にな(尋理六) たにし(尋理六) さざえ(尋理六・尋讀三・尋讀四・尋讀七)
*てんぐにし(尋理六) *なぎなたほしづき(尋理六) *ものあらがひ(尋理六)
*ほらがひ(尋理六) *なめくち(尋理六) *あかにし(尋理六)
すがひ(新三上) *うみほしづき(尋理六) *きしやこ(尋理六)
はまぐり(尋理六・尋讀三・尋讀七) あさり(尋理六・尋讀七) ほたてがひ(尋理六)
からすがひ(尋理六) しじみ(尋理六) 眞珠貝(あこやがひ)(尋地二・高地一・尋讀七・尋理六)
カキ(尋讀七・高讀二・尋理六) さくらがひ(新三上) つきひがひ(新三上)

第四、蠕 形 動 物

一、環蟲類

蚯蚓(尋理六・尋讀十一)

ひる(尋理五)

二、圓蟲類

*いとみみず(尋理五)

三、扁蟲類

第五、棘 皮 動 物

一、海膽類

うに(尋理六)

- 二、海星類
- 三、海百合類
- 四、沙蟻類

なまこ(尋理六)

第六、腔 腸 動 物

一、珊瑚類

いそぎんちやく(尋理六)

さんご(尋理六・高地二・尋讀七)

二、水母類

くらげ(尋理六)

あかさんご(尋理六)

*みづくらげ(尋理六)

第七、海 綿 動 物

かいめん(尋理六・尋讀七)

第八、原 生 動 物

小學校教材植物分類表

表中の略語例

尋讀三……………尋常小學讀本 卷三
 新三……………新制小學讀本 新制三學年用
 尋理六……………尋常小學理科書 第六學年教師用
 小地……………高等小學地理 新制三學年用
 (但し教師用書の備考欄にのみあるものはこれを掲げず)

甲、顯花植物

一、被子植物

I 双子葉植物

イ、合瓣花區

- 一、菊科 ▲きく(尋理五 尋讀一) ▲かんきく(尋讀十) ▲たんぽぽ(尋理五 尋讀三・九 高讀二)
- 二、桔梗科 ▲よめな(尋理五 尋讀三・八・九) ▲こすもす(高讀二) ▲むしよげきく(同上)

- 三、葫蘆科 ▲ききやう(尋讀八) ▲はたるぶくろ(尋讀九)
- ▲きうり(尋讀五 尋理五) ▲まくほうり(同上) ▲しろりり(同上)
- ▲すぬくわ(尋讀五 尋理五 高讀二) ▲とうがん(尋讀五 尋理五)
- ▲いぼちや(尋讀五 尋理五 高讀二) ▲へちま(尋讀五) ▲ゆふがほ(同上)
- ▲なみなへし(尋讀八)
- 四、敗醬科 ▲咖啡(尋地六 高地一) ▲規那(同上)
- 五、茜草科 ▲おぼばこ(尋讀九)
- 六、車前科 ▲こま(尋理六)
- 七、胡麻科 ▲桐(尋讀一・六・七 尋理五)
- 八、玄參科 ▲なす(尋讀一 尋理五) ▲馬鈴薯(尋讀十一 尋理五・六 尋地六 高理一 高地一)
- 九、茄科 ▲たうがらし(新三下) ▲煙草(尋地五・六 高地一 新三下)
- 一〇、唇形科 ▲しそ(尋讀九)
- 一一、馬鞭草科 ▲チーク(尋讀十)
- 一二、旋花科 ▲甘藷(尋讀十 尋理五・六 尋地五・六) ▲あさがほ(尋讀一・八・九 尋理五)
- 一三、木犀科 ▲オリーブ(高地一)
- 一四、柿樹科 ▲かき(尋讀一・四 尋理五 高讀二)
- 一五、櫻草科 ▲さくらさう(高讀一)
- 一六、紫金牛科 ▲たちばな(尋讀七 高讀一)

七、石南科 ▲つ、じ(尋理五 尋讀九) ▲やまつ、じ(同上)

口、離 瓣 花 區

- 一八、繖形科 ▲にんじん(尋讀九) ▲ほたるさう(ほたるさいこ)(新三上)
- 一九、五加科 ▲にんじん(小地)
- 二〇、柳葉菜科 ▲つきみさう(尋讀八)
- 二一、紅樹科 ▲マンガローブ(高地二)
- 二二、桃金娘科 ▲ユーカリ(高地一)
- 二三、安石榴科 ▲ざくろ(尋理五)
- 二四、堇菜科 ▲すみれ(尋讀三)
- 二五、金絲桃科 ▲タガヤサン(尋讀十)
- 二六、山茶科 ▲茶(尋讀五・十一・十二 尋地 ▲さざんくわ(尋讀八) ▲つばき(尋讀十 尋理五) (五・六高地) 高讀一・二)
- 二七、梧桐科 ▲あなざり(尋理五 高讀二) ▲カ、オ(高地一)
- 二八、錦葵科 ▲わた(尋讀四・六・八・十二 尋地五・六 高地一 高讀二)
- 二九、葡萄科 ▲葡萄(尋理五 尋地五 高地一 高理一 高讀二)
- 三〇、鼠李科 ▲棗(尋讀十)
- 三一、鳳仙花科 ▲ほうせんくわ(尋理五)

三、無患子科

三、七葉樹科

三、槭樹科

三、漆樹科

三、大戟科

三、芸香科

三、亞麻科

三、牻牛兒科

三、荳科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

三、薔薇科

- 四、十字科
 - ▲うめ(尋讀二・四・五・六・七・八・九・十 尋理五・六 高理一 高讀一・二)
 - ▲さくら(尋讀三・六・七・八・九・十・十一・十二) ▲すしも(尋讀八)
 - ▲普賢象(新三・上) ▲ひざくら(新三・上) ▲ぼたんざくら(新三・上)
 - ▲やまぶき(高讀一) ▲びは(尋讀八 尋理五) ▲いちご(尋讀九)
 - ▲ばら(尋讀十) ▲りんご(尋地五・六 高讀一・二) ▲苹果(高理一)
 - ▲あぶらな(尋理五 尋讀十・十一) ▲だいこん(尋理五 尋讀一・七)
 - ▲山東菜(高讀二) ▲白菜(同上) ▲かぶら(尋理五 高讀一・二) ▲體菜(高讀二)
 - ▲くすのき(尋讀十一 尋地六 高理一)
 - ▲らうばい(高讀二)
 - ▲なんてん(尋理五 高讀二)
 - ▲むべ(高讀一)
 - ▲ぼたん(尋讀九) ▲福壽草(尋讀八) ▲しゃくやく(高讀一)
 - ▲きんぎょ(尋理五 高理一)
 - ▲はす(尋讀一・八・十 尋理五 高讀二) ▲おほおにばす(尋讀十)
 - ▲なでしこ(尋讀十)
 - ▲おしろいばな(尋讀九)
 - ▲ぬのこづち(尋理五) ▲けいとう(高讀二)
 - ▲甜菜(高理一)
- 四、樟科
- 四、蠟梅科
- 四、小蘗科
- 四、木通科
- 四、毛茛科
- 四、金魚藻科
- 四、睡蓮科
- 五、石竹科
- 五、紫茉莉科
- 五、莧科
- 五、藜科

- 五、蓼科
 - ▲藍(尋讀八 尋地六) ▲そば(高讀一)
 - ▲からむし(尋讀六)
 - ▲桑(尋讀七・九 高理一 高讀一) ▲榕樹(尋讀十一 尋地六 高地一)
 - ▲大麻(尋讀六・十一・十二 高地一 高讀一 新三) ▲いちじく(尋理五)
 - ▲ごむのき(印度ごむのき)(尋地六 高讀一)
 - ▲けやき(尋讀六 高理一) ▲おひよう(尋讀十) ▲かうぞ(新三・下)
 - ▲むくのき(高讀二)
 - ▲栗(尋讀二・四・六 尋理五 高理一) ▲どんぐりのき(尋讀四 尋理五 高理一)
 - ▲かし(尋讀十一 尋理五 高理一) ▲しひのき(尋讀十一 尋理五) ▲なら(高理一)
 - ▲こるくのき(高理一 高地一)
 - ▲白樺(尋讀十一) ▲はんのき(尋讀十)
 - ▲しだれやなぎ(尋讀三) ▲やなぎ(尋理五 尋讀一・十二)
- 五、榎斗科
- 五、樺木科
- 六、楊柳科

II 單子葉植物

- 六、芭蕉科
 - ▲芭蕉(尋讀十 尋地六 高讀一・二) ▲バナナ(尋地五 高讀一)
- 六、鳶尾科
 - ▲あやめ(尋讀六・九 尋理五 高讀二) ▲ひきつばた(尋讀八 尋理五 高讀二)
 - ▲はなしやうぶ(尋理五 高讀二)

- 空、百合科
 - ▲ゆり(尋讀一・九 高理一) ▲くるまゆり(尋讀一) ▲たにゆり(高讀一)
 - ▲おもと(高讀一) ▲れぎ(尋讀十 高理一) ▲うばゆり(尋讀十)
 - ▲りゆうのひげ(高讀二)
 - ▲蘭(尋讀十)
- 空、燈心草科
 - ▲パイナップル(高讀一)
- 空、鳳梨科
 - ▲あなうきくさ(尋理五)
- 空、浮萍科
 - ▲うきくさ(尋理五 尋讀十)
- 空、天南星科
 - ▲いも(尋讀一 高地一)
- 空、棕櫚科
 - ▲椰子(高地一 高理一 高讀一) ▲なつめやし(高讀一) ▲とう(高地一)
 - ▲こやし(高讀一)
- 空、莎草科
 - ▲すげ(尋讀九)
- 空、禾本科
 - ▲しまざき(高讀二) ▲稻(尋理五 尋讀一・四・六)
 - ▲小麥(尋讀四・十 尋理五) ▲燕麥(尋讀十一)
 - ▲甘蔗(尋讀六 尋地六 高地一 高讀一 新三・下) ▲裸麥(尋讀十一 尋理五)
 - ▲粟(尋讀十) ▲なばな(高讀一 尋讀八) ▲稗(同上) ▲かるかや(尋讀八)
 - ▲高粱(尋地一 高地二) ▲玉蜀黍(尋地六 高地二) ▲しば(尋讀一)
 - ▲アダン(高地二)
- 七、榮蘭科
 - ▲ひるむしろ(尋理五) ▲えびも(尋理五)
- 五、眼子菜科

七、香蒲科

- ▲がま(尋讀四 高讀一)

二、裸子植物

空、公孫樹科

- ▲いてふ(尋讀十・十二 尋理五 高讀二)
- ▲すぎ(尋讀一・六・十 尋理五) ▲ひのき(尋讀六・十・十一 高理一 高讀一)
- ▲とじまつ(尋讀十一 尋地六) ▲えぞまつ(同上) ▲からまつ(尋讀十一 尋)
- ▲もみ(高理一 高讀二) ▲とうひ(高讀二) ▲しらべ(同上)

乙、隱花植物

一、苔蘚類

I 羊齒類

六、蕨科

- ▲ぜんまい(尋理五)

七、裏白科

- ▲うらじろ(尋理五)

八、杉樺科

- ▲へこ(尋理五)

五、水龍骨科 ▲しのぶ(尋理五) ▲まめづた(同上) ▲わらび(尋理五・六)
 六、木賊科 ▲すぎな(つくし)(新三・上)

II 蘚苔類

一、蘚類 ▲すぎこけ(高理一)
 二、苔類 ▲せにこけ(高理一)

二、菌藻類

I 菌類

三、真菌類 ▲まつだけ(尋讀八 尋理五) ▲しひたけ(尋理五 高理一) ▲しめぢ(尋理五)
 ▲はつたけ(尋理五) ▲あなかび(尋理五 高理一)
 四、細菌類 ▲バクテリア(尋理六 高理一 高讀二)

II 藻類

五、紅藻類 ▲ふのり(尋讀七 尋理六) ▲つのまた(同上) ▲てんぐさ(尋讀七 尋理六 高讀二)
 (ところてんぐさ)
 ▲あまのり(尋理六)
 六、褐藻類 ▲こんぶ(尋讀七 尋理六 尋地六 高讀一・二) ▲わかめ(尋讀七 尋理六)
 ▲あらめ(尋讀七) ▲ひじき(同上) ▲もづく(尋讀七) ▲ほんだわら(尋理六)
 七、綠藻類 ▲みる(尋讀七) ▲あなさ・あなのり(尋理六)

小學校教材鑛物表

尋常小學理科書
 高等小學理科書
 尋常小學讀本
 高等小學讀本
 高等小學地理

教師用
教師用

(表中の略字)

(尋理)
 (高理)
 (尋讀)
 (高讀)
 (高地)

(一)印を印したるは、たゞ理科書の備考欄にのみ掲げられたものなることを示す。

一、非金屬鑛物

原始鑛物

- イ、石英 尋理五 高地一
- 普通石英
- 水晶(白水晶) 尋理五
- 紫水晶 尋理五
- 煙水晶 尋理五
- (水入水晶) 尋理五
- (草入水晶) 尋理五
- 瑪瑙 尋理五 高地一

- 玉髓 尋理五 高讀一
- 燧石 尋理五
- (碧玉) 尋理五
- (蛋白石) 高地一
- (貴蛋白石) 高地一
- 口、長石 尋理五 高地一
- (正長石) 高地一
- ハ、雲母 尋理五
- 黑雲母 尋理五 高地一

- 白雲母 尋理五 高地一
- 蛭石 尋理五

- ニ、輝石 高地一
- ホ、角閃石 高地一
- ハ、黄玉石 高地一
- ト、鋼玉石 高地一

- ルビー 高地一
- サファイヤ 高地一

- チ、(電氣石) 尋理五
- リ、(柘榴石) 高地一

- チ、硝石 高地一
- 變成鑛物
- イ、蛇紋石
- 口、滑石 高地一
- ハ、石筆石
- ニ、石棉(石絨) 高地一
- ホ、陶土 高地一
- ハ、明礬石 高地一

沈澱鑛物

- イ、(岩鹽) 尋理六
- 口、(螢石) 高地一
- ハ、(礬灰石) 高地一
- ニ、礬鐵 高地一
- ホ、石膏 尋理五 高地一
- ハ、方解石 尋理五 高地一
- (鐘乳石) 尋理五
- (石筍) 尋理五
- ト、明礬 高地一

- 有機鑛物
- イ、石墨
- 口、石炭 尋理六 高地一 高地一
- 無煙炭 尋理六 高地一
- 瀝青炭 尋理六 高地一
- 褐炭
- 泥炭 尋理六 高地一
- (埋木) 尋理六
- ハ、石油 尋理六 高地一 尋讀五 高地二
- ニ、琥珀 高讀三
- ホ、金剛石 高地一 高地一

二、金屬鑛物

<p>一、銅 尋理六 高讀六 高地一 自然銅 尋理六 高理一 黃銅礦 尋理五・六 高理一 斑銅礦 尋理六 高理一 孔雀石 (赤銅礦) 尋理六 鐵 尋理六 尋讀六 高地一 磁鐵礦 尋理六 高理一 黃鐵礦 尋理五・六 高理一 褐鐵礦 高理一 赤鐵礦 尋理六 高理一 砂鐵 尋理六 八、金 尋理六 高地一 砂金 尋理六 山金</p>	<p>二、銀 尋理六 高地一 輝銀礦 尋理六 方鉛礦 尋理六 高理一 六、亞鉛 尋理六 閃亞鉛礦 尋理六 高讀一 (菱亞鉛礦) 尋理六 七、錫 尋理六 錫石 尋理六 高理一 八、錳 尋理六 九、鉛 尋理六 十、鋅 尋理六 十一、銅 尋理六 十二、鐵 尋理六 十三、錳 尋理六 十四、鎳 尋理六 十五、鈷 尋理六 十六、鉻 尋理六 十七、鎂 尋理六 十八、鋁 尋理六 十九、鈣 尋理六 二十、鈉 尋理六 二十一、鉀 尋理六 二十二、銨 尋理六 二十三、磷 尋理六 二十四、硫 尋理六 二十五、氯 尋理六 二十六、氟 尋理六 二十七、溴 尋理六 二十八、碘 尋理六 二十九、砷 尋理六 三十、碲 尋理六 三十一、硒 尋理六 三十二、矽 尋理六 三十三、硼 尋理六 三十四、鋇 尋理六 三十五、鐳 尋理六 三十六、錒 尋理六 三十七、釷 尋理六 三十八、釷 尋理六 三十九、釷 尋理六 四十、釷 尋理六</p>
---	--

三、火成岩

一、花崗岩 尋理五・六 高讀一
 (角閃花崗岩) 尋理五
 (複雲母花崗岩) 尋理五
 二、閃綠岩
 三、石英斑岩

二、(石英粗面岩) 尋理六 高理一
 三、安山岩 尋理六 高理一
 四、(玄武岩) 尋理六 高理一
 五、火山灰 尋理六
 六、火山礫

一、火山彈
 二、黑曜石 尋理六

七、輕石 尋理六

四、水成岩

一、砂岩 尋理六 高理一
 二、砂 尋理五
 三、珪岩 尋理五
 四、礫岩 尋理五
 五、粘土 尋理五・六 高理一
 六、泥板岩 高理二

七、粘板岩 尋理六 高理一
 八、珪板岩(試金石) 尋理五
 九、凝灰岩 高理一
 十、石灰岩 尋理五 高理一
 十一、大理石 尋理五 高理一
 十二、白堊 尋理五

五、變成岩

一、(結晶片岩) 高理一
 二、蛇紋岩 高理一

東京高等師範學校附屬小學直觀教授の教材

尋常一年	第一學期 凡十二時 1、一年の教室と講堂と唱歌教室 2、學校のお庭の花 3、つばきの花 4、野邊の草 5、すみれ 6、たんぽぽ 7、蝶 8、秋の草花の種まきと移植 9、朝顔、ほうせん花、おしろい花、くじやく草、百日草、ひまわり、こすもす、まつばぼたん 10、學校とお庭の花 11、つばきの花、ふぢの花、芍薬 12、ばら、ぼたん 13、いちばつ、あやめ、しやが、
尋常二年	第一學期 凡十二時 1、春の花壇 2、水仙、ヒヤシンス、ひなぎく、アルメリア、サクラ草、シネアリア、アネモネ等 3、野邊の草 4、わらび、ぜんまい、よめな、よもぎ、れんげ草、などりこ 5、草、毒草 6、たれまきと植えかへ、たうもろこし、落花生、麻、草棉 7、きうり、なす 8、雀と燕 9、筍と親竹 10、梅桃さくらんぼ 11、蜘蛛のいろく 12、水邊の生物 13、やごとんとんぼ、ぼうふらと蚊
尋常三年	第一學期 凡十二時 1、春の野邊 2、木の發芽、つくし、菜の花、麥、ひばり 3、春の水邊 4、蛙、めだか、えび 5、潮干狩 6、あさり、はまぐり、かに、やどり、いそぎんちやく、か 7、れい 8、蠶と桑 9、夏の畑 10、麥類、菜、大根 11、陸稻及び小豆の種子まき 12、雷と夕立 13、川と海 14、夏の旅 15、山登りの注意 16、(二時) 17、(二時)

附 録	花菖蒲 7、蜂 8、むたつむり、たにし 9、金魚と龜の子 10、噴水 11、夏ノ森ト蟬 12、第二學期 凡十三時 13、秋ノ草花 14、朝顔の花、ほうせん花、おしろい花、くじやく草、ひまわり、まつばぼたん、月見草 15、蠶 16、秋の果物 17、ぶどう、梨、林檎、ぎんなん 18、秋の森 19、木の葉のいろく 20、木の實のいろく 21、森にくる鳥 22、動物園の觀察 23、第三學期 凡九時 24、ふくじゆ草と梅の花 25、ねすみとれいこ 26、ねすみとりのわな
附 録	あめんぼう、みづすまし 1、はす、ひつじぐさ、くわぬ、ほそぬ 2、瓜と茄子 3、第二學期 凡十三時 4、麻、玉蜀黍の收穫 5、二十日大根の種まき 6、こほろぎ、きりぎりす 7、秋の七草 (二時) 8、七草の名 9、秋の果物 10、栗の實、椎の實、柿、いちじく 11、秋の畑 12、草棉、落花生、まつまいも、ぢやがたらいも、ねぎ、たまねぎ、らつきやう、だいこん 13、牛蒡、にんじん 14、きんかん、みかん、だいたい 15、第三學期 凡九時 16、風とこま 17、風とこま 18、風とこま
附 録	海水浴泳ぎの注意 1、汽船 2、汽車 3、第二學期 凡十三時 4、夏休中の觀察 5、採集して来たものの展覽 6、見聞して来たことの談話 7、松蟲、鈴蟲 8、暴風雨と風の害等 9、海と生物 10、潮と鹽 11、いかとたこ 12、さざえとあはび 13、がんとかも 14、稻刈 15、だりやと菊 16、秋の森 17、きのこ 18、松、杉、檜 19、檜、樺、樫 20、冬の風候と水 21、第三學期 凡九時

20、なんきんれすみ
21、牛と馬
22、豚と羊
23、鶏あひる
24、卵から羅へ
25、うぐいす

19、竹とんぼと飛行機
20、カリ(狩獵)
21、鳩ときじ
22、兎、狸、狐
23、動物園の觀察

18、人間の寒さを防ぐ法
19、鐵と銅
20、磁石と方角
21、星と月
22、人のからだ

東京高等師範學校附屬小學校理科教授の教材

尋常四年	尋常五年	尋常六年
<p>第一學期 凡二十四時</p> <p>1、櫻の花 2、春の野の花 たんぼ、すみれ、毒あ る植物 3、そらまめ 4、つじ きりしまつじ、つじ の種類 5、雀 6、燕 7、かたつむり 8、花菖蒲 9、もんしる蝶 10、蟹 11、栗の木 12、蜘蛛 13、蠅(いへげ)</p>	<p>第一學期 凡二十四時</p> <p>1、油 菜 2、はまぐり 3、ひらめ 4、蠶の發生 5、桑 6、種子の發牙 7、蛙 ひきがへる、とのさまが へる、あまがへる、あ がへる、かじか 8、大麥と麥類 9、竹 10、松 11、油菜の果實 12、蠶の繭と蛾 13、梅の果實</p>	<p>第一學期 凡二十四時</p> <p>1、鯨、せみくぢら 2、うに、なまこ 3、くらげ、いそぎんちや く、さんご、かいめん 4、海藻 昆布 海藻類 5、動物物教材に關する概 括 普通なる動物の分類 普通なる植物の分類 生存の要件 人為淘汰 6、熱の發生及傳導 7、熱による物體の膨脹 8、蒸汽機關 9、物の重さ</p>
<p>3 2 2 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1</p>	<p>1 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 2 2</p>	<p>2 1 1 2 2 1 2</p>

41、犬
42、牛
43、馬
44、豚と羊
45、梅の花

1 2 1 2 1

40、硝酸其他の酸
41、苛性ソーダ、炭酸ソーダ
42、石灰水、アンモニア水
43、鐵
44、銅
45、錫と鉛
46、亞鉛、アルミニウム
47、金、銀
48、春分

1 1 1 1 2 2 1 3 1

31、眼、神經、衛生
31、感覺器
舌、鼻、皮膚

大正十一年三月十日印刷
大正十一年三月十三日發行

理科教授法の實際化
定價金貳圓貳拾錢

著者 成田千里

發行兼印刷者 杉全平

發行者 小川善七

印刷所 日清印刷株式會社

發行所

東京市牛込區新小川町二丁目四番地
電話番町四六七五番
振替東京五三三五〇番

三共出版社

大賣捌

三省堂 東京堂 東海堂 北隆館
川瀨書店 大阪實文館 菊竹金文堂 大坪惇信堂

263.7
96

終

